Vol 34 No. 9833 Thursday September 7 1939

TAIRIKU NIPPO

昭和十四年九月七日（木曜日）第九千八百非三號

大陸日報

TAIRIKU NIPPO
THE CONTINENTAL DAILY NEWS
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
213 & 215 E. CORDOVA ST.
VANCOUVER, B. C.

本紙定價前金 半ヶ月七拾五仙 三ヶ月弐拾五仙 四ヶ月弐拾五仙 壹ヶ年八弗弐拾五仙
晩香坡市東カドバ街二一五 電ツリニチ五五三三 大陸日報社 株式會社

紙はり
バウエル街三四六 ツリニチ二八九エル 小林（陸明書房）

オイル ヒーター
ヤマタネシー
シー一四一四

モーラー美容專門學校出身 矢部しげ子
富士美容院
北野喜美江 電話シーモア〇八五五 自宅ハイランド四九一八
美粧院 電話シーモア〇八三三エム
ツリニチ五一〇一＝五一〇二 住宅ハイランド三三二七
ビューティーパーラー 池田照子 電話ベビユー八七五〇アール

平沼前首相と會見し 近衛聲明の實現を確認

汪精衛・上海で記者團と會談

上海七日（同盟）——汪精衛氏は六全大會の閉幕により愈然表面化した和平救國運動の先頭に立つて新中國建設、新東亞建設のため着々その歩武を進めつゝある汪精衛は七日午後二時より約一時間に亘り共同租界愚園路一二三三號の汪公館において平沼前首相と會見した

本新聞記者團と會見し近に午後五時から外人記者團と會見し種々なる反共和平救國の所信を披瀝した、氏は三十代の青年ともも紛ふ如きその温顔に微笑を生気を湛へながら北京語をもつて次のように語つた

私は重慶脱出以來上海へ來たのは敗回わるが諸君に親しく會見する機會を得たのは今回が最初である、現在まで會見する機會を得なかつた理由は自分が昨年十二月重慶政府河内に赴き同地より重慶政府に對し自分の堅持する和平救國の主張を披瀝したのであつたがつひに黙、政府の容れるところとならなかつた、自分の經過を都度に述べ繰いて次の如き一問一答を行つた

問——先生の率ゐる國民黨と重慶方面に殘つてゐる國民黨との關係は今後如何になるか、殊に中央委員その他多數重慶黨員にして依然重慶方面に留まつてゐる者が極めて多いが、之を如何にせられるか

答——予の承知してゐる所では國民黨としては重慶方面に在る者は大多數予の和平主張に賛同してゐるが、蔣介石獨裁勢力の壓迫により黨員を發表することが出來ずその行動も亦極めて不自由で自動車公路、飛行場など何れも厳重なる檢査を受け蔣の許可なければ出て來ることが出來ないので表面上之に屈服してゐる狀態である、而して和平運動の發展により所謂狀態は間もなく解消せられるであらう

問——重慶政權の前途に對する見込如何、また重慶政府の國共合作の前途如何

答——重慶政權は益國共合作に向つて進むだらう、併し國共合作は極めて不自然で且つ共產黨が或る程度に到れば必ず國民黨と分裂するであらう、今後我は共產黨との合作を甘んぜぬ是等の同志を援助して共產黨の勢力を打破する機會を得させ重慶政權が共產黨と分離しその本來の面目を復活するやう努力する、斯くして和平の障碍は除去し得られるのである

問——最近の國際情勢殊に歐洲の動亂に對する感想如何、また之と關聯する中國の執るべき措置につき意見を伺ひたい

答——この問題については中國國民黨第六次全國代表大會の宣言中において既に説明してあるが、要するに中國としては誠意を以て日本と合作し東亞の和平を鞏固にし、歐洲の動亂に對し同一の歩調を以て之に對處すべきである、蓋し今後則する所は世界の平和に在り、吾人は各國の友誼を增進しその中國に於ける正當の權益を保障するに努力すべきであり、各國關係の集合離散及び戰禍に對しては、その渦中に捲き込まれることを欲しない

問——貴下の日本國民に對する希望如何

答——近衛聲明發表以來日本國民の發表する意見と國策とは完全に一致し特に輿論界に於ける主張を見るに各大新聞、大雜誌の如き何れも國策の線に沿ひ十二分にその言論を發表してゐるのを見ても深く敬服してゐる次第である、茲に誠意を披瀝して申上げたいことは中國の人民は決して平和を願つてゐないのではないと云ふことである、たゞ中國人民は自ら覇國の民たることを知り且つ現に軍事に失敗せる地位に在るので近衛聲明が果して完全に實現せらるゝや否やについて懸念してゐる、換言すれば中國の獨立自由は果して和平により完全に回復するや否やと云ふに在る、斯る懸念が日本國民の諒解を得て隨時事實を以て示すことにより氷解しその決心を促すに於ては兩國の親密なる合作は必ず滿足なる點に到達すべきものと信ずる

問——三民主義の修正は日本國民の最も注目してゐる所である、その修正の要點如何

答——三民主義特に民生主義は共產黨人よりも曲解されてゐるので説明を加へる必要がある、中國々民黨第六次代表大會の宣言に於ても詳細な説明を加へたる通りである、予の今回の各種工作は蔣によつて高宗武に命ぜられたラインを繼承してなされたものである、而して予はその後の折衝によつて近衛聲明並びに予の和平建議が十分實現される確信を得た、第一段階は既に完了したが、第二段階は現在進行中である

日本人記者と一問一答

阿部内閣の政綱

十二日の閣議で決定 省の廢合斷行？

東京七日（同盟）——阿部内閣は廢閣後に採用した趣旨を近に具体とする阿部内閣の政綱政策は十二日の閣議で正式決定の上内外に發表する豫定である

◇

阿部首相は近く發表すべき新内閣政綱の骨子中に現下の時局に鑑み行政改革に關する政府の所信を明らかにし來る限り徹底的に改革の斧を加へ以て時局の要請に應じ七日の閣議で此の點に關し七日の閣議で上奏し明日の參内を經て組閣に當つて小部、鐵道省の各省廢合を具体的に掲げなくとも行政機構改革に關し相當積極的に政府の決意を表明するものと見られてゐる

此の閣議で示すべきであるとの首相の意圖を東京七日（同盟）——阿部内閣は廢閣後に採用した趣旨を近に具体とする阿部内閣の政綱政策は十二日の閣議で正式決定の上内外に發表する豫定である

◇

阿部首相は近く發表すべき新内閣政綱の骨子中に現下の時局に鑑み行政改革に關する政府の所信を明らかにし來る限り徹底的に改革の斧を加へ以て時局の要請に應じ七日の閣議で此の點に關し七日の閣議で上奏し明日の參内を經て組閣に當つて小部、鐵道省の各省廢合を具体的に掲げなくとも行政機構改革に關し相當積極的に政府の決意を表明するものと見られてゐる

すべきであるとの首相の意圖を此の閣議で示すべきであるとの首相の意圖を東京七日（同盟）——阿部内閣は廢閣後に採用した趣旨を近に具体とする阿部内閣の政綱政策は十二日の閣議で正式決定の上内外に發表する豫定である

◇

阿部首相は近く發表すべき新内閣政綱の骨子中に現下の時局に鑑み行政改革に關する政府の所信を明らかにし來る限り徹底的に改革の斧を加へ以て時局の要請に應じ七日の閣議で此の點に關し七日の閣議で上奏し明日の參内を經て組閣に當つて小部、鐵道省の各省廢合を具体的に掲げなくとも行政機構改革に關し相當積極的に政府の決意を表明するものと見られてゐる

新駐滿大使 梅津中將

東京七日（同盟）——駐滿大使

天津英兵の暴行

日本婦人を船より引下ろし 濁流に投じ逃亡

天津七日（同盟）——最近再度に亘る英人の我が國旅傷辱に對する暴行事件が發生し我が同胞を極度に憤激せしめてゐる

即ち六日午後六時天津特區居住の日本人井上定夫夫人はボートに乘り支那人ボーイに漕がせ英租界と特一區の境界線を航行中英兵四名の乘つてゐる舟がその附近で沈没した爲め英兵は同船を求めたが、井上夫人は淺いところでもあり小型の爲め不可能なる旨を述べたところ英兵は同夫人に暴言を浴びせた上亂暴にも同夫人を濁流の渦中に引摺りむろし件のボートを奪つて何れかへ漕ぎ去つた

支那人ボーイの急報で中外檢問所警備の衛兵及び憲兵が急行したが既に其附近には姿を見せなかつた、右不祥事件に對し我が總領事館では午後五時功力副領事をして英總領事館を訪問せしめ抗議を行ム一方軍よりも同日英國側に對し厳重抗議を提出した、英國側の回答如何によつては軍としては重大決意を有してゐる

維新政府中立宣言

南京七日（同盟）——歐洲戰亂に對し維新政府は七日午後四時中外に中立宣言を發し同時に在支各國大公使宛て右宣言を發送した

外國記者に所信を披瀝

汪精衛は七日日本人記者團との會見後午後五時から約一時間在上海各國記者團を茶會に招いたが、汪は席上要次の如く述べた

◇

我々の目的達成のためには踏むべき二つの段階がある、その第一は國民黨を創立當時の正確に引戻し如何なる勢力の壓迫をも受け付ず行動の自由を獲得することであり、第二には無益無意味な戰爭を終熄して中國を滅亡より救ひ和平の事態を招來することである

而して第一段階を完了した機會に私は諸君にお目にかゝつた譯である、諸君の中に重慶から除籍された予が尚ほ且つ黨の名に於て行動を統裁する權威を有するかどうかに關し疑問を有せられる向きもあるやうだが、現に蔣介石自身一九二七年政府が武漢にあつた頃當時南京にゐた彼は武漢政府が共產黨により實權を握られてゐることを口實に脱黨したことがある、その時彼は別個に南京で新政府を組織し大規模な清黨工作を行つた、武漢政府は彼を除籍し逮捕令を出したが、結局國民黨も國民政府も共產黨の非を認め自ら共產分子の一掃をなし南京と合作することゝなつたのであつた

予の今回の行動が黨史上既に行はれて來た例に倣ふものであることを理解されると思ふ、次に私は重大なる事實を諸君に述べよう、昨年四月國民黨緊急大會直後蔣介石は和平交渉を秘かに行はしめるため當時外交部亞洲司長であつた高宗武を香港に密派した、此の間何度となく日支双方にとつて和平の好機はあつたのであるが、その度に蔣介石の心境の變化のため徒らに機を逸したのである、予の今回の各種工作は蔣によつて高宗武に命ぜられたラインを繼承してなされたものである、而して予はその後の折衝によつて近衛聲明並びに予の和平建議が十分實現される確信を得た、第一段階は既に完了したが、第二段階は現在進行中である

◇大陸風景◇

救國和平の熱意を内外記者團に語りて汪精衛の胸中一點の疑念なく日本に信頼す

……▽……

早くも好景氣再來を夢みて東亞新秩序建設に浮かれる者にお目玉頂戴の喜劇あり

……▽……

不動の國策は變轉するものに見せなかつた、右不祥事件に對し我が總領事館では午後五時功力副領事をして英總領事館を訪問せしめ抗議を行ム一方軍よりも同日英國側に對し厳重抗議を提出した、英國側の回答如何によつては軍としては重大決意を有してゐる

維新政府中立宣言

南京七日（同盟）——歐洲戰亂に對し維新政府は七日午後四時中外に中立宣言を發し同時に在支各國大公使宛て右宣言を發送した

更送は六日内奏、七日左の如く發令された

陸軍中將正四位勳一等功五級梅津美治郎

兼任特命全權大使、滿洲國駐劄

兼任特命全權大使陸軍大將植田謙吉

兼官

あらざる事を知りつゝ甘い夢を追ふなり

……▽……

英陸軍西部戰線に急きつゝあり、ドイツ軍はワルソーに急きつゝあり

……▽……

ワルソー陥落近く、ジグフリード要塞突進遠し、戰況ニュースは東洋から歐洲へ

日加貯蓄

◇日本送金 何れの地方へでも無手數料で確實迅速に御取扱ひ致します
◇最近締切日 平安丸 九月十六日（土曜）田 九月廿二日 桑港經由
◇貯蓄預金 ◇當座預金 ◇公債賣買 ◇信託預金

日加合同貯蓄會社
晩香坡市ハエウル街三九八
電話ツリニチ〇〇四〇

JAPAN AND CANADA TRUST SAVINGS CO.
P. O. Drawer 130 398 Powell Street
Vancouver, B. C.

市内 火災保險 料率引下げ
第四面廣告參照
其他詳細は 田中保險代理社に
TANAKA INSURANCE AGENCY
田中保險代理社
415 Powell St Vancouver, B. C.
Phone High. 2571

Monarch Life Assurance Co.
非常の場合家族を救援、壯年時に事業の援助子弟の教育完成、老後のハッピーライフ
當社を御利用下さい
モナーク生命保險會社
支社 晩香坡市ローザヤスビルテング内八〇一＝九
日本人部代理 後藤金平
電話事務所 シーモア四七四一 自宅ハイランド〇七七〇Y一

SUN LIFE OF CANADA
加奈陀サン生命保險會社
暑中御見舞申上げます
300 E Cordova St. Vancouver, B.C.
電話 ツリニチ 五五九九 及 四六九七に
中野保險 事務所

THE ROYAL BANK OF CANADA
East End Branch
Vancouver, B.C.
▲預金 總ての銀行取引には當ローヤル銀行と決め下さる樣御願ひいたします 當行では貴樣に充分御滿足をお與へする事が出來ると確信してをります
▲送金 多數の日本内地銀行と取引して居る當行では日本送金相場を非常に勉强してをります 事は既に貴樣の御承知の事と存じます 當行では日本人事務員を雇用して居りますから日本人の取引には非常に便宜で殊に地方に在住なさる方では邦文の手紙で賭用を達する事が出來ます
總資產 九億弗
貸金及積立金 五千五百萬弗
ローヤル銀行 メーン街及びヘスティング街角

The Yokohama Specie Bank
822 3rd Ave., Seattle
Ell. 3575 P.O. Box 1917
◎資本金 壹億圓
◎積立金 壹億參千八百四拾万圓
横濱正金銀行 シアトル支店
○郷里送金＝無手數料にて日本内地、滿鮮、其他へ迅速且つ確實に送金いたします
○普通送金＝送金手形或は電信爲替世界各地向取組
○圓貨定期爲替手形＝利息、六ヶ月以上年三分三厘
○米貨定期預金＝桑港支店に御取次致します 期間は一箇月以上一ヶ年迄 利息は桑港御取次の日より附けます

THE SUMITOMO BANK OF SEATTLE
802 3rd Ave., Seattle, Wash.
日本向送金手形、郷里送金は左記のローヤル銀行支店にて御取次致しますから精々御利用下さい
晩香坡イーストエンド、スチブストン、ニウエストミンスター、マーボー、ラドナー、カムバランド、ビクトリア等
シアトル住友銀行
米金預金 弗定期預金 弗貯蓄預金 弗特別定期（十年書替不要）六箇月以上年二分二厘 弗月掛貯金 小切手勘定 無利息
日本向定期爲替手形 六ヶ月以上年三分三厘

公債
◇日本帝國公債賣買 英米佛貨債、四分利付佛貨公債專門 ◇公債買入には金融の便を計ります
シ・エム・オリバー株式會社
日本人部主任 上西喜代多
電話シーモア八〇二四 134 Hastings St. W.

諸種製材
御入用の節は日本人販賣人山崎宗次に御面談下さい
會社の電話番號 二七四〇＝二七四一
新西院
モハーク製材所
MOHAWK LUMBER CO.
New Westminster, B. C.

紙類及文房具卸商
晩香坡ヴィクトリア街九九六 電話ツリニチ二五三一
COLUMBIA PAPER CO. LTD.

紙類及文房具卸商
晩香坡市及ヴィクトリア
スミスデビッドソン&ライト 會社
SMITH, DAVIDSON & WRIGHT LIMITED

昭和の二宮尊德

西住戰車長傳

（148）

菊池寛作
伊原宇三郎畫

戰車隊の本隊が、天王寺に達したのは、十二月十日で、此處で大休止をした。やはり、橋梁破壊のために進めなかつたのである。がこの頃金沢は、急速な前進を續けて、各兵團の第一線は、既に南京城外に迫つてゐた。

本隊の到着の一刻も早からんことを願つてゐた。

所が、翌九時頃、西住大尉が本隊から戰車で連絡に來た。その報告によると、最後の橋梁を修理して三聯だけ戰車が渡ると再び破壞して、後續の戰車を渡すには、再修理を要するとの事であつた。部隊長は落胆した。

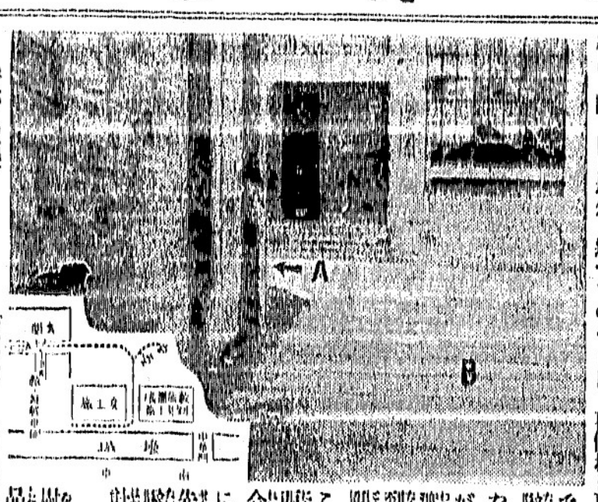
が、その先に渡つた三聯が到着すれば戰闘に參加することに決心し、西住大尉に命じて第一線に赴かしめ、先發せる山川大尉との連絡を計つた。

が、西住大尉は歸來して部隊の所に合流すれば戰闘に參加してゐる敵を攻撃してゐた山川大尉が他の任務につかんとして、反轉して來るのに會つた。

その報告によつて、兵工廠には敵旅團長以下千數百の敵が、死守しつゝあるのを知つた。細見部隊長は、わづか三聯の戰車で城壁に沿つた兵工廠の建物と建物との間のわづか三間ばかりの路を左に折れ、兵工廠の構内に突入した。その時、建物の二階の窓から、部隊に手榴彈を投げられた。構内にはいると、建物は摩天の如く三種あつた。

その廣場に戰車を止め、旅團長の立て籠る建物を猛射し、中川軍曹は、歩兵と共に、建物内に突撃して、遂にその大部分を殲滅した。

この時、中川軍曹は、戰車でエーの小路にはいつた。これは袋小路である。出ようとするとビーの小路に敵戰車砲があつてエーの小路を狙つてゐる。わづか、三十メートル位である。まさに死地で、中川軍曹は、必死の覺悟をきめると、いきなり戰車をエーからビーへ曲げ、敵戰車砲を目がけて、機關銃を射ちながら猛進した。敵も、射撃したが思ひがけない中川軍曹の行動に狼狽し、照準がはづれ、彈丸は空しく左側の壁を射つた。その彈丸の痕は、私の行つた時もハッキリ殘つてゐる。（寫眞は中川軍曹奮戰の跡）



前線だより

中支派遣稲葉部隊本部吉本隊

入口成幸氏からスキーナ河在住新屋カヅエ、トシエ兩嬢宛

遠く海を離れて異國の地カナダより貴實のお心の籠つた御慰問品に接した時只々感激の念で一ぱいでした。今事變勃發以來國民の熱誠は益々熾烈なものとなり、取りわけ海外に勇躍せらるゝ同胞の愛國至情は戰地にある者のひとしく感激感謝致してゐるところで御座います。不肖私は此の度の事變に召されて早や二年、北支に轉戰して參りました。炎熱酷暑の行軍も酷寒の地の露營も、今はすつかり慣れ切つて參りました。中支の平原にも緑深い夏が訪れて參りました。

北方への旅から

河上生

十七日正午すぎ協會の便をかりてスキナ河へと向つた。二時間ばかりの後インバネスに到着しスロープ方面のヤナリーを順次一巡して後オシャニック・ヤナリー（向ふへ）サニサイド・ヤナリーを出發したのは陽も西山に沒し源氏迫る頃だつた。

イヤ〳〵遠目でもトップリ暮れて河の彼方此方には篝火した多數の漁船が散在して美觀を呈してゐた。

協會の北川氏は顔が仕しさうな、感じいスキナ河に散在する各ヤナリーを盡くなく夜となくボートに身を託して眠けづり廻つてゐる、この仕事も却々樂ではないと思つた。

▽…

さて、オシャニックに着いたのは九時半過ぎだつたらう、ここでの用事を早々と濟ませて十時頃此處を出發してククストン・ヤナリーへの針路をとつた。夜中の舟で大事をとつて用心しながら走つたために豫定以上に時間を費やし、ククストンの ヤナリーに到着したのは夜中の十二時過ぎだつた。通いためか人の聲も聞ねない。その夜はボートで一夜の夢を結んだが何せボートの中のことゝて波に搖られるのと寒さのために度々目がさめ眠なんぞ出來なかつた。

▽…

翌早朝人聲に目をさまし早速飛び起きた、そして濱岡さん宅に御邪魔して朝食の御馳走になつた。間もなく船上の人となつて半時間の後カーライルに着いた。三尾さん宅で電話を頂いてブラ〳〵してゐると「日本人のボートが水浸しになつて引つ張つて貰つて來た」と誰かゝ云つたので、オーフに行つて見ると水浸しのボートから雇んに水をかへ出してゐた。

それは曩港の持田氏のボートであつた、持田氏は漁期にはボートに肉や野菜類を積んで各ヤナリーに賣捌いてゐるが、この日もスロー方面を終へてカーライルに向ふ途中不幸にして岩に船體を當てしまつた、その拍子に船底に穴をあけ、そこから水が入るといふ惨狀に遇つたのだが、幸ひに附近を通り合せた同胞に救はれ、船體を水浸しのまゝカーライルに曳いて貰つて來などの事だつた。

早速四、五名の同胞が眼けつけ水浸しになつたボートの水のかへ出しを手傳つてゐたが、かういふことは日本人でなくては見られぬ情景であらう。

—八・一九—

オールド バージニア
ファイン カット
—香り高きシガレット・タバコ—

▲オールド・バージニア・ファインカットの味と香りは格別です
▲卷いて吸ふには最上のタバコです
ポケット用　十仙
ポーチ　十五仙
半斤入鑵　七十五仙

OLD VIRGINIA
FINE CUT

生菓子
祝餅
煎餅

各種製箱業
御注文に應じ如何樣にも製作致します

いつも不變の
素敵な味
お米はなんと言つても
日の本印 白米
關取印 白米
バウエル街三六九　電話シー五二一八—五二一九
何でも揃ふ 前川商店

最新式ソーダスト バナー
各種あります
取付は大勉強

お客樣御便宜の爲め
無氣の絶對に來ない

御歸國なさる
方の家具荷造

薪炭
名田重交社
晩市ゴーフ街五六六

秋草に想ふ
ウッドファイバー
日隱生

梗桔の花の咲く頃よ
姉も妹もふた親も
仲良し村の人々も
手に〳〵秋の野の花を
さゝげてゆかし墓まいり
やがては同じ石となる
人の運命を思ふとき
草葉の蔭に亡き人を
その秋草にしのぶなり

たが、惡疫等の流行も少く風土病等にも襲はれず毎日元氣で服務に精進して居ります。

今便にて日本より大工道具が參りました
大勉強にて御用命に應じます
大勉強
晩市メーン街二〇八
ビーシー金物店
電話 ツリニチ五五三六

N.Y.K.
1404 - 4th Ave., Seattle, Wn.
◉郵船案内

（船名）	（入港）	（出帆）
平安丸	九月七日	九月十八日
氷川丸	九月十八日	九月三十日
日枝丸	十月二日	十月十四日
平安丸	十月廿一日	十月二日
氷川丸	十一月六日	十一月十八日
日枝丸	十一月廿二日	十二月五日

○横濱行三等片道六三弗　神戸行六五弗
◉日本郵船會社シアトル支店
代理店 晩市 B.W. Greer & Son Ltd.
美市 Great Northern Railway

高等 南京料理
日本人諸君の御來店を歡迎
晩市バウエル街二五二
新北京
電話シー五七七四　同三五一七

大勉強で御用命に應じます
ボンテアック、ビューイック、ジ・エム・シ・トラックの特約販賣店
晩市アレキサンダー街ゴア街角
日本オート
電話 ツリニチ 二八九九
自動車修繕
グッドリッチタイヤー
附屬品一切

◈和洋雜貨食料品
晩香坡市バウエル街三三七
蛭崎商店
電話ツリニ〇九九一

▲ラヂオ修繕
如何なるラヂオにても丁寧に責任を以て修繕いたします
▲チューブは無料にて試驗いたします
晩市バウエル街三三三
電話シーモア四一〇一
速水繁雄

カマボコ製造
BC魚店
晩香坡市バウエル街二五三
電話ツリ二七八八　夜間シー三五三八

無毛症に毛を生やす
毛生原素療法
發毛劑ミクロゲンの効果

毛質ホルモンを抽出して精製したる本劑は無毛症薄毛、抜毛等の惱みを持たれる方には又とない良藥です
止しい養毛料として
地肌からサッパリと汗や汚れを消して不快な臭やフケを去り、つや〳〵した美しい毛を生やしたい方々に是非ミクロゲンをお奬め致します
藥効 無毛症、薄毛、抜毛、若禿像防 白毛防止
藥價 二、五〇
晩市バウエル街三三一
新見商會
電話ツリニチ 二三三三

記錄的快速力
CANADIAN PACIFIC
STEAMSHIPS LIMITED

◇安全
何れも太平洋上の巨船ですから安全の上を走る樣なことは本社船へ乘つて初めて知る事實です
少し位の時化（シケ）ではビクとも致しません
婦人子供の旅行に特に安全です

◇出帆表
カナダ　九月二日
ロシア　九月十六日
ジャパン　九月三十日
エシア　十月十四日
ロは、ホノルル寄港

◇便利
三等の待遇は特に注意して居ります
船室は各船共最上の場所を選び間隔ですから影響はスプリング付マットレスです
日本食の用意がありません
各船共日本人が乘組んで居ります
沙市より同賃金で連絡切符差上ます
特に日本人コック二名を乘船致させました、日本人のお客樣には純日本食を差上ます

巨船
ロシア號　同　三九〇〇
エカテリナ號　同　三三〇〇
カナダ號　同　三五〇〇
ジャパン號　同　三〇〇〇
シベリア號　同　一六〇〇
ヒロ號　同　一六〇〇
ホノルル號　同　一六〇〇

詳細は下記へ御問合ひ願ひます
加奈陀太平洋汽船會社
SETO MORE
Pacific Passenger Agent
CANADIAN PACIFIC (Ocean Traffic)
J. J. FOSTER
Steamship General Passenger Agent
Vancouver, B.C.

自轉車はターメー
メイン街一一二
電話ツリ五五五九
ターメー自轉車店
新學期と自轉車
最非御買上げの程を
イージー月賦の相談
學校用ノートブック
六十頁二冊五仙
總て大勉强差上ます
松崎藏作

ニアース
誇るべき日本國產殺虫劑です
蠅、蚊、蟻を退治するのは容易です
南京虫、油虫には潜む所へ噴霧して下さい
害虫豫防に使用しても決して汚點を殘しません
香りはよく人畜には絶對無害です
何卒此の日本品を御試用下さい
價格
小鑵　五十五仙
大鑵　一弗五仙
ユニオン魚店
晩市バウエル街四六九
電話ハイ〇三三五—〇三三六

空中戰記

敵基地へ第一彈

小癪！襲ひ來る二百餘機　砲彈を衝いて驀進

タムクス爆撃隊指揮官　覆面部隊長

◎……わが爆撃隊の勇姿……◎

太陽は大眞宗益の頭をはなれる。

蒼空の暗黒は烈日の光に目眩めてくる。それはたゞ單調な大地の廻り伏しでしかない。光るボイル湖がたゞ一つの目標だつた。爆撃部隊はこのわずかにも原始的な風景の空を、たゞ西へ〜〜と進んだ。目ざすタムスクはボイル湖を越えて四十キロのか方にある。

風は強烈西・北・北西に吹く服の空を、たゞ西へ〜〜と進んだ。目ざすタムスクはボイル湖を越えて四十キロのか方にある。

風は強烈西・北・北西に吹く服の空を、たゞ西へ〜〜と進んだ。目ざすタムスクはボイル湖を越えて四十キロのか方にある。

ボイル湖はすぐ眼下に現はれた。すでに國境上空である。緑か方湖面に白い羊群が走つてゐる。サッと目に映つたとき「美しいな」と感じた。

編隊の先頭を飛ぶ指揮官機の窓から私の金縁眼鏡に朝の爆撃目標タムスクの影をもとめてゐた。それにもかゝはらずボイル湖の美しさが心に焼付られたのはどうしたことであらう。敵空軍の暗黒機に進入し

◇……「丹手に自轉車に乘つて——これは生活樣式の生徒たちが、買物に出かける姿であり、北京新名物の一つである。が街の女ら主婦となる時、それは陋巷で一里も二里もあるといふのうになつた彼女らが生活の能率増進を目ざしてのことである。

◇……「私たゞはじめから學校を一つの家庭と見なして、豫算も收支もすべて生徒に知らせてあります。殊に生活に必要な食料品、消耗品などの買入れは、殆んど生徒任せにしてゐるので生徒たちもわがことゝして真面目にやつてくれる許りか、同じ品でも安いものを見つけて買つてくるといふ位になつてゐます」といふ話。

◇……豫算生活を營ゐる。これもまたふまでの古い支那に育つた娘たちにとつては大きな生活の變化であらう。やがて彼女らが主婦となる時、それは陋巷の貧困を脱した新時代の家庭が古都北京にもいや北支全土に生れるやうになるだらう。

ペダルを踏む彼女たち

能率增進　そして豫算生活

我機貫く敵彈

敵高射砲彈十數發が編隊圍んで炸裂

見ゐたぞ　タムスク

うッすらと遠かにたなびく青い煙がまつ直ぐに入つてきた。見てゐるうちにその青い煙の下に傷頭のやうな蒙古包の群落が微に認められた。タムスクである。果原大尉が

「見ゐた、見ゐた、タムスクです！」

と叫んで叫んだ。私は反射的に窓からガラスに顔を押しつけてわが爆撃編隊を振り返つた。編隊はこれから爆撃コースに入るところである。

果原編隊であつた。分列式のそのまゝの○形陣、鋭翼は朝日を浴びてキラ〜と輝き、他の編隊は無限に太陽の光芒のなかにつゞいてゐた。爆撃機隊の威容を浮べ、戰闘部隊は無敵の光の征矢だつた。

音なく戰ふ　敵味方

戰闘部隊は編隊をなく敵機めがけて飛んで行く、殺氣を孕んだ外蒙の空はあくまで青くあくまで高い、闘ふ者にとつてこの戰場はいくらか廣すぎるかも知れない。私は山西や察哈爾の山岳での區切られた狹い空を想ひたしてさう考へた。爆撃部隊は亂舞する戰闘機群を拔けて爆撃コースに入つた。

追ひすがる敵機、近づいては反轉を繰返す敵の機翼がしばしばひたひたに爆撃目標を求ひる私の眼望を妨げた。

音をたて〜機銃射手の手もとかいてゐる、窓外の空中戰闘の激しい轟音はガラス一枚に遮斷されてまつたく聞こない、音なく戰ふ敵味方——勇ましい機敵である。こゝかしこ一團となつて撃ち合ふ敵味方の戰闘のかなたに私は必死と近づくタムスクを視界に捉へる。街はずれにあるバラック建兵舎を私の眼はしかと捉へた。

吼ゆる敵機の爆音

それは太陰ひとつない廣い原野の片隅にポッ〜と點のやうに重なり合つて見ゐた。五棟か六棟か、眸をこらす目の前を斜に、燃ゆる敵戰闘機が煙を曳いて墜ちてゆく。バラックからやゝ離れてドラム罐の堆積が敵ケ所、原野には潜走による輪痕が驀然と入り亂れてゐる、その先端にはイー十六型戰闘機が七、八機づゝ敵ケ所にかたまつて玩具のやうに見ゐた。まさにもなく敵空軍基地である。

編隊は大きく旋回して目標に迫る。私はたゞ「豫定の如く攻撃開始」と命令を發して爆撃の瞬間をヂッと待つた。

機銃が一段と猛射される。私は目標を睨んで會心の一撃を待つ。その前へまたスーッと機影が入つてきた。私はたゞ地上目標の兵舎をのみつめる。機影は私の窓を目がけて一直線に飛んできた。

「きたぞ！」

「敵機だッ！」

誰かゞ叫んだ。胴のすんぐり詰つたイー十六型。

しかし私の眼は頑として目標を離さない。よし射たれても離さない。敵機の爆音は吼ゆるやうに近づく。わが機銃が猛然と鳴つた。敵はヒューッと鋭く羽搏いて視界から消ゆた。息もつかせずそのあとからまた一機、また二機。私は爆撃の瞬間があと何秒かに迫つたのを感じる。

わが機體を貫ぬく敵彈

果して照準眼鏡にとりついてゐた下士官は右手をあげた。「用意」——爆撃用意だ。敵機はいまは狂つたやうに指揮官機へ執拗にからみつく。高射砲彈が編隊を圍んで十數發も一ぺんに炸裂した。またしても敵機。五機目だ。またしても高射砲。花咲く白煙。敵機の操縦士の眼鏡が見ゐた。機翼に描いた赤い星がグン〜肉薄した、敵彈は無氣味な音をたて〜幾度かわが機體を貫いた。

わが○形陣は襲ひかゝる敵機の銃火を默殺した。高射砲彈の煙を衝いて斷乎と進む。つひにその時がきた。栗原大尉の手がのびて爆撃の電鍵を力強く押へた。外蒙へ、タムスクへ、記念すべき爆撃第一彈——。

傳說と神秘に彩る砂金の上に立つ街

オーロラの町ノーム

（上）

左ば去る八月晩香坡に上陸、同十二日アラスカのノームに着き大毎、東日世界一周機ニッポンを迎へるべく準備を進めてゐた東日特派員高田市太郎氏のノーム素描である

▽……

極北特有の傳說と神秘とローマンスを秘めたアラスカは「ニッポン上來れ」と兩手を差し伸べて待つてゐる、アラスカはゴールド・ラッシュの國だ、雪と氷の國だ、エスキモーの國だ、夏は夜がなくて眞夜中に太陽がカン〜と照り輝く國だ、冬は晝のない暗黑の國だ、大宇宙の神秘を語るオーロラの國だ、わがニッポンは人跡絶ゆた北太平洋を征服した瞬間にお伽噺そのまゝのこの國に歴史的な鵬翼の影を刻印するのだ、私（高田特派員）はニッポンをノームに迎へるためニッポンのコースとは逆にアラスカを東から西へ飛行機で横斷、エスキモーの大橇なら八十日か九十日を要する二千三百キロを八時間足らずで翔破して十二日ノームに着いたのである、こゝは米大陸最西端の要港だ——

アラスカは滿洲國よりも廣い領土五十八萬六千四百平方マイルを持ちながら人口は僅か六萬か七萬で十平方マイルに一人强の割合といふ殆んど無人の境だ、從つてアラスカの町や村はお互に何百マイルを隔てゝゐる、飛行機で何時間飛んでも山また山、河また河湖や森林や氷河など原始的な大自然のほかには家屋など殆ど見當らない、アメリカの文豪ジャック・ロンドンの有名な小說『野性の呼聲』に描出されたまゝの姿である、この淋しい極北の國にもニッポン來るのニュースは早くも在留日本人はもとより米人、アラスカ・インデアン、エスキモー達の耳に傳はり、米國本土の新聞紙は一周機のことを常に詳しく報じてゐたがアラスカの諸新聞も同樣にニッポンと乘員の寫眞入で大々的に掲載した

ニッポンが根室出發後四千キロを翔破してまづ最初に米大陸に車輪の跡を印するノームは砂金の上に立つ不思議な街である、ノームの海濱の砂地にも、街の家々の床下の土にも、路傍の一塊の土の中にも燦然たる金が光つてゐる、この世界的の砂金郷に日本のすばらしい飛行機が飛んで來るといふのでノームの市民やエスキモーは驚きと好奇の目を見はつてゐる、何しろ世界の文明の中心から何千マイルも離れてゐて北極圏のわづか百五十マイル南に位し、街は南向きに海岸に沿ひ戶數五百、三階建以上の高い建物はないが、人口千五百（冬には千人ぐらゐに減る）の小さな、生活の極めて單調な町だからリンドバーグ氏夫妻がノームから日本へ飛んで以來の大ニュースとしてニッポンのことが全市民の話題となつてゐる

▽……

ノーム飛行場は街の背後すなはち北方一マイルの平地にあつては北緯六十四度卅分、西經百六十五度十一分に位してゐる、飛行場は滑走路たけの簡單なもので、滑走路は北東に走り、長さ三千二百フィート、幅二百フィートで、砂利が敷きつめられ大體申分はない、汎アメリカン會社の十八人乘ロックヒード機が毎週この滑走路から飛び立つてゐる格納庫がないから、ノームで一泊の場合は飛行機は露天にさらしたまゝ地上に繋りつけておかねばならぬ

▽……

ノーム付近の天候は昨年より平均して良好で名物の恐ろしい霧も案外少い、青空がベーリング海からアリューシャン列島へかけて果しなく擴がつてゐる

——〔續く〕——

電力を節約するイタリー

イタリーでは電力の節約が、ギリ〜まで行はれてゐます。ナポリの町を歩いてゐますと、陽もはや西に沈み、ベスビアスの煙がうす赤く見ゐる頃になつても街燈、一つつきません。ぼんやりと海を眺めてゐると、やがてパッと全市の電燈がともされます。その時は全くホッと救はれた感じがします。まだ明るい頃から電行燈式の電燈のつけ方とパッとつくとポットするつけ方とどちらがよいでせうか、適度と云ふことは却々むづかしいことです

Breatheasy

日本人間一手販賣

公認　藥局　パウエル藥店

晩香坡市パウエル街三九九　電話シーモア七五〇二

ぜんそく　ヘーフイーバーの最新藥

吸入器藥品　一組　十五弗
藥品　小三弗　大五弗五十仙

して平常と變りなき狀態に快癒致します、ヘーフィーバーの鼻つまり、眼瞼痒痛涙等ヘーフィーバーによる一切の不愉快な性狀を一掃いたします、從來の同種類藥品と異り絶對に副作用を伴ひません、御試用お望みの方は電話を下さいましたら市内は（フリーデモンストレーション）無料にてサービスいたします

ブレースイージーは其特殊性藥劑の配合により最も合理的に呼吸器粘膜に作用し喘息に於ては重性の發作時にても即時に呼吸困難を去り、たんせきの吸出を容易ならしめ少時間に

◇通學用靴特價

ガール靴　入より十半　一弗十仙より二弗十仙
十一より三　一弗三十五仙より二弗四十五仙

ボーイ靴　入より十半　一弗九十五仙より二弗七十五仙
十一より十三　二弗十五仙より三弗七十五仙

仕事靴大廉賣

バウエル街三五六　電話ツリニチ四四七七エル

名畑靴店

米は＝米屋へ

■毎樣愈々天候も初夏となりまして　毎日の御飯に多少の不味を感する時となりました、毎年の如く弊店の特選無砂搗白米は「精米に絶對石粉を使用せず」暑期尙は皆樣より多大の好評を得て居ります

■『安い米』お米には多種類ありまして値段は四弗以上各種あります左記發表の白米以外安いお米の御入用の方は御申越し下されば直ぐ調製致します

御買物は上等品を

△進呈　御茶碗（各袋毎に入れて）

極上スシ米　百斤入　五、七五
五十斤入　二、九五

上等米　百斤入　五、四五
五十斤入　二、八〇

モチ白米　五十斤　三、五〇
加州白米　百斤入　四、五〇

▲カナダ一品無砂搗白米
▲値は安くても品は上等

店員の戶別訪問や掛賣りをして居て良い品を安く賣れる譯がありません

弊店は注文取り＝掛賣は致しません

御安く買ふには現金の店で

▲市内は電話御かけ下されば直ぐ配達致します
▲地方からの御注文は代金を共に運賃見積り加算の上御金送を願上ます
▲御勘定の殘金は特に申越しなき限り御預り致しません
商品發送と同時に勘定書を共に返金致します

現金でお安く

東ヘステングス街六四七—九

米屋商店

電話ハイ〇八八九
647-9 E. Hastings St.
Vancouver, B. C.

獨逸ポーランド戰線
首都は未だ陷落せず
ポーランド軍は死物狂ひで防戰中
ドイツは敵國三分の一占領

ポーランド戰線のドイツ軍は其の後各戰線で進擊を續行して今や全ポーランド國の三分ノ一に近い領域を占領しつゝある而して大体に於て北と南と兩側から敵首都ポーランド（進みつゝあるが首都に最も近い北方から南進のドイツ軍はワルソー北方二十五哩乃至三十哩の地點で思ひがけぬポーランド軍の抵抗に遭つて本日此の方面のドイツ軍は進擊を食ひ止められた形だ・從つて其の將來は今明日中とみられたワルソーも陥落必死の防戰が多少成功し今しばらくは陥落も延びた樣だ・しかし全戰線はドイツ軍の優勢確實と思はれる方面に向け進展してゐるのであるからワルソーの陥落も今は只時の問題と見るべきであらう

ノイッンデッツを殲滅中、東部上シレジアの產業地帶は獨軍の掌中に歸した

△西部戰線――我が軍はチエチニー、レプスノ、ビオトルコフの線を奪取更にシエラズノ兩面の要衝地域ブンケル線を突破し目下ロッヅ方面攻略中、ブロンベルグを占領せる我が軍は引續き同市附近に於て南方に向けネッツ河を渡河した

△北部戰線――快速部隊はナレブ河に達しロザンは目睫の間に在る、碧抽場の總數約一萬、砲六十門を鹵獲した

△空軍活動狀況――ドイツ空軍はズンスカ、スカルジユスコ、タルノフ、シレッチエン等の鐵道交叉地點の擊を爆擊した、ロッヅ方面に於て追擊機數機を見た外ポーランド軍の機影を見ず、五日ポーランド機の獨逸領を爆擊せるものはなかつた

△ポーランド潛水艦撃沈さる、これにて擊沈ポーランド潛水艦は合計三隻となつた

昨日ポーランド空軍がベルリンを空襲したとワルソーから發表されたがドイツ側は否定、其の後何らの詳報もないのをみるとデマらしかつた、其の後ドイツ軍の毒ガス使用報道はないが最初の毒ガス報道も餘り當てにならない

ポーランド政府の移轉先も砲擊
再び首都替へか

ニウヨーク七日――エービー、ペルリン電はドイツ軍事當局通方面に於てはポーランド政府の移轉先ルブリンも本日中には砲擊下に置かれる事とならうと豫想してゐる戰況となつてゐるポーランドの新首都ルブリンはワルソーの東南方約百哩の所にあるが南方から進擊のドイツ軍の一隊は此の方面に向け進擊してゐるもの丶如くでポーランド政府は再びドコかに移轉せねばならなくなるかも知れない

ドイツ陸軍最高司令部の戰況公表

ベルリン七日――ドイツ陸軍最高司令部は昨日ポーランド戰況を左の如く發表

△東部戰線――快速部隊はベスキドの北部入口を奪取して目下ベルリン七日――獨波開戰六日目ドイツ軍は既にポーランド領深く侵入しその南方軍は東部上シレジアを完全に席捲し、首都ワルソーを兩方より衝かんとするの態勢を示しつゝあるが、右ドイツ軍の上部シレジア東部地區の完全占領はポーランド側の攻擊戰線に重大なる支障を與へ今後の戰局に相當な影響を及ぼすものとして各方面から注目されてゐる、ドイツ側では右に關して次の如く觀測を下してゐる

◇

東部上シレジア工業地帶の占領はポーランドにとつて實質的にその全重工業を喪失したと同一の意義をもつものである、かくてポーランド武器工業は最早や同地方よりの半製原料の供給を仰ぐことが不可能となつた譯で結局これはポーランドが大砲、小銃、裝甲鐵板等の鋼鐵資源その他飛行機エンジン、裝甲車、機關車、貨車等の生產全滅を意味するものであるのみならず、今回占領した地域内にはポーランド炭礦の九十五パーセントが存在しその上十ケ所に及ぶ亞鉛鉛等の鑛山喪失によつてポーランドは銅鑛產百パーセントを失ふに至つたわけで、以てその意義の重大性を測り知るべきであらう

早くも戰爭來で好景氣の再來を夢想
日本人の一喜一憂は銃後の恥
精神總動員で聲明

東京七日（同盟）――歐洲戰爭勃發に際し日本國民の覺悟を期する聲明發表する事となつた

獨波の戰況に英佛參戰の報一度傳はるや國民の一部に早くも今次歐洲大戰が、寧國の新事態出現を待ちならしめるが如く速斷し、出でゝ時に至つては二十五年前の歐洲大戰當時に於ける好景氣の再來を想するが如き者を生じたるの感あるは遺憾に堪ぬ、世界大戰を通つての驚然たる此の國際情勢に處する我が國としては、獨自の立場により東亞に於ける指導的地位を確立し以て東亞全局の安全に努力邁進せねばならぬ、輕率極まりなき國際情勢に一喜一憂し不動の國是を忘れ愈々我が國の使命を遂行する覺悟を新にし、時局の推移に對しては冷靜沈着の態度を以て臨むべきである

日本の對外爲替
基準變更せず

東京七日（同盟）――歐洲に於ける動亂勃發を動因とする英米情勢の發生に伴ひ我が對米爲替相場の上に重大なる影響を及ぼしたるは直に輸出入貿易關係は勿論國內物價にも重大關係を持つもので、大藏省としては過般來英米クロスの動きに對して深甚なる注意を拂ひ、情勢如何によつては我が對外爲替基準を現在の砂リンクより小リンクに乘り替へる事に就ても十分なる調査研究を行ひつゝあつたが、英佛銀行は四日政府の命を受け英米クロス・レートを對ニューヨーク賣値四弗二仙、同買値四弗六仙に公定したので英米クロスも一應安定を回復したものゝ見解に基いて、砂リンク政策は突發事情の發生しない限り當分變更せず

英國政府から條約停止通告

ロンドン七日――英國情報省は昨日次の如く發表した「英國政府は英獨兩國間に戰爭狀態發生せる結果一九三六年のロンドン海軍條約第二十五條、一九三七年の英ソ協定第二十五條及び一九三八年の英波協定に從ひ關係諸外國政府に對し上記諸海軍々縮條約に基く英國政府のあらゆる義務は茲に暫定的に停止された旨通告を發した」

英國汽船又も擊沈さる
ドイツ戰艦沈む？

リスボン七日――英國汽船マナ號（七二四二噸）は昨夜ポルトガル海岸沖で一潛水艦の爲め擊沈された、乘組員八十八名中四十一名は不明、死者二名、負傷者三名を出した

◇

ロンドン七日――先日英國空軍がドイツ軍港ウイリアムスハーフエンを空襲した際ドイツ戰艦二隻に命中彈を送つて是れに損害を與へたが本日の情報によるとドイツのポケット戰艦のうちグナイスノー號は遂に沈沒したものゝ如しと云ふ、但し確報はない、ドイツ側は大した損害はなかつたと先日公表してゐたものである

蜂谷輝雄氏
ワルソー籠城
大使館に頑張る

東京七日（同盟）――ポーランド政府は首都ワルソーを捨て丶遂にルブリンに移つたが、酒匂大使以下我が大使館員もポーランド政府の指定した安全な土地に避難した旨本日午後同大使から外務省に宛て公電があつた、避難先は多分ルブリンと思はれるが、公電によれば酒匂大使は井上二等書記官及び丸尾書記生の二人を隨へてポーランド政府指定の土地（多分ワルソー西南方百哩のルブリン）に避難、蜂谷加雄參事官、元晩香坡領事）、道正欠書記生、橋田親吉郎電信書記生の三名は砲煙渦巻くワルソーの大使館に籠城を決し今尙は勇敢にも事務を執つてゐるとの事である

前大戰の思出

サア戰爭だ、と世界の矚は今や歐洲の空に總動員されたが、まだ期待された程華々しい近代戰は演ぜられない。今後どう展開するか解らぬが、前の大戰と比較すると洵にまどろこしいやうな感がある。前の大戰にこのカナダが參加した當時の事を思ひ出してみると、はつきりした記憶は殘つてゐないが、それにしても晩香坡等も全市を擧げて今日とは比較にならぬ位エキサイトしてゐたやうに思ふ。

◇

當時の大陸日報を繰つてみると、記者が早速晩香坡駐剳各國領事館及び新兵募集所を訪問してみると、モントリオル駐剳代理領事のベルグホルツ氏が本國からの訓令により軍籍にあるカナダ在留のドイツ人召集に來晩してゐるが、これをどうして歸國さすか大評定中といふのだ、相手國で兵隊を召集するといふのだから當時の本紙記者もタイガイ駭いたらしい。次にフランス領事館に行くと「何せ晩香坡にフランス人は三百人位しかゐませんから大した事はないですよ」と代理領事のイステル氏が呑氣に構へてゐたと報じてゐる

◇

次には新兵募集所訪問記で、アイルランド輕步隊募集所では應募者が蜿蜒と列をなして檢査の順の來るのを待つてゐたと書いてゐる。次にドリル・ホールの第六聯隊募集所を訪問するとここにも應募者が押かけてゐたが、係の士官が「日本人の應募者もあつたが遺憾ながら採用を遠慮した」と語つてゐたとある辭去する時階下では新兵の操練最中であつたが、その中に運送屋がビーアを二樽運びこんで操練の傍を轉がして奥の方へ行くと、兵隊の視線が期せずして樽に向つたと報じてゐる。

◇

其他工兵第六野戰隊の熟練工兵募集所や、リーヂヨン・オブフロンテアスメン本部なども訪問し、最後に第七十二シーフォース・ハイランダー隊募兵所に行くと、例の藤原鐵足よろしく帽子に紅白線で華麗な扮裝の士官がスカッチ・ウイスキーの一盃機嫌で「ここでは五、六時以下の者は殘念ながら採らない」と捲き舌で斷られたと報じてゐる。

〔山本倫也〕

英國陸軍の組織改編

ロンドン七日――英國政府は今回從來の正規陸軍地方義勇軍及び各種の補充軍の全部隊を綜合改編して英國陸軍を組織するに決し六日その旨情報省より公表された

日本人漁者白人を救ふ

ラドナーの日系漁者エス阿久根氏は月曜日午後七時半アクチプバスで白人二名が溺死せんとしてゐるのを發見、直に是を救出した、白人は晩香坡の者でボートがロックと衝突して沈んだものであつた

ウインザー公明日出發

フランスのカンヌ發電に依るとウインザー公夫妻は明日ロンドンに向け出發する筈である

廿年前の今日大陸日報より

◇明治四十二年九月七日――今回新たに設置さるゝ事となつた清國領事館は本日よりアポット街四〇四に開館、初代領事は歐陽庚氏

加藤萬里子孃ピアノ教授

トロント音樂學校のエー・テーシー・エムとロンドン音樂學校のエル・アール・エス・エムとピアノ教師の資格を二つ獲得した最初の二世加藤萬里子孃は今回西第六街一二三四の自宅でピアノ教授をすることになつた、尙希望者には出張教授もする由

英國製
秋向きウール
◇…日本人の皆樣には特にお安く差上げます
ヤマト商會
グランビル街四六〇　電話シーモア八八三二

移轉記念賣出し
もうあと二日間
金曜日、土曜日
□この際の犧牲的特價を何卒御利用下さい
良品　廉價の　グロセテリヤ
松宮食料品店
バウエル街二〇五　電話シー三五九七

同胞の皆樣に
御滿足行く樣サービスする爲めに
特に
岡村美惠子孃
を雇入れて居ります

日本行各汽船切符販賣
日本郵船、シーピーアール、
▲再渡航證明、移民官手續、妻子及使用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等屆書、加奈陀政府出生屆手續
▲歸化證にて營國旅券下附及妻子呼寄手續其他一般代理
晩香坡市バウエル街二三五
中山義一事務所
電話ツリニテー〇三九四
住宅ハイ二二〇七アール

Manufacturers Life
○御子樣の貯蓄心涵養のため
○御機樣の結婚費用蓄のため
○他日事業の資金に當てるため
○來るべき老境の準備のため
○御家族の生活安定保證のため
營會社は世界卅二ケ國及日本の大都市に支店又は代理店を有します
マニュファクチャラース生命保險
晩市アレキサンダー街三〇二　電話ツリ〇二八三
代理
信夫保險事務所
日本人唯一の保險士　信夫三郎

大勉強
晩香坡市バウエル街二六八
杉山運送舍　蒼天野運送
電話ツリニテー三〇五九

◇強力改良害蟲驅除新劑發賣
無味無臭無色人畜絕對無害
◇フライオサイド　小鐵二九　大鐵四九　一ガロン　三、五〇
◇油虫南京虫蟻蝨蚊其他凡ゆる害虫の強力殺虫劑
食物衣服に無害野菜草花用としても實用されます
△フイルム各種
△現像燒付引伸
△ワタマンペン
△文房具小間物類
文化商會
バウエル街二五〇電話シー四〇八七

新着品御案內
◎白干レンコン　一斤　四十五仙
◎干芋ズキ　一斤　二十仙
◎干瓢　一斤　五十仙
◎出煎魚（上）一斤（袋入）二十八仙
◎チリメン雜魚　一斤（同）四十五仙
□週間特賣品
此機を逸せず御買上下さいませ
◎八千代麩（小函）　一函　十八仙
◎米イカ　二鐵　卅五仙
クリーム入
◎ビスケット　二斤　卅五仙
優良品を最も安く
香村商店
バウエル街二六九　電話ツリニテ〇〇九二

造船及修繕
日魯デーゼルエンヂン販賣
御料理
ピアノ教授
經驗は學富教授は親切
「米は米屋へ」
ハクマイ印　日戸八
五、七五
東一スチングス街六四九
電話（バイランド）〇八八九
御結婚式
日本振袖賃貸
長髮短髮電氣なしのオイルパーマネントウエーヴ
助產
松岡久枝
高橋貴志子

英大軍の上陸
佛軍は約十哩を進撃
獨佛戰線の獨軍はなほ受身
英佛空軍は敵地猛爆

パリ六日——フランス軍は既にドイツ國境を越ねてドイツの聚落線ジーグフリード線に對し攻撃を開始し本日最前線は國境から十五キロ（九哩半）を前進して居るが、英國陸軍はフランス軍のジーグフリード線攻撃作戰支援の爲め相當兵力をフランスに送り之等英軍は續々フランスに上陸しつゝある、而して右英國軍兵力は極秘に附されて居るがフランス政府筋では英國陸軍はフランスに對し先の世界大戰當時に比し遙に強力な支援を與へると述べてゐる

英國はヒトラー政權の潰滅するまでは最後まで戰ふと聲明して居る所前長期戰を以て臨みつゝありと言はれて居る、英國は主に空軍と海軍のみの活動を續け本日までの所派遣陸軍はまだドイツ軍と衝突してゐない模樣

フランス軍の右翼部隊は進撃不可能狀態

パリ七日——フランス軍は西部戰線攻撃開始以來三日を經過し本日フランス軍は獨逸本部の命令一下順調に進撃を開始した、西部戰線はスポス岬のバーゼル、ストラスブルグからライン川沿一帶に亘る獨戰線（佛軍の右翼に當る）の突破は困難を極めて居り、從つてフランス軍は寧ろ北部國境突破に全力を傾注してゐる、尚は北部國境を突破したフランス、軍は目下敵陣に陷り流血不可能で僅かに野砲部隊が砲撃を繼續して居るに過ぎない

フランス軍前哨司令部は昨日戰況を左の如く發表（一）我が第一線は國境線を越ねて前進しつゝあり其の前進速度は國境線の場所に應じて異るも各所とも自動大器及び野戰構築物に遭遇しつゝあり（二）空軍は地上部隊と協力行動中

英佛聯合陸・空軍は
左翼戰線へ猛攻撃中
ドイツ領ザール地帶に打撃

パリ七日——フランス軍は攻撃主力を左翼戰線に集中し既に地上部隊はドイツ領ザール盆地（ベルギー南方ルクセンブルグ國方面）に進出しドイツのジーグフリード線の第一線陣地を奪取した、獨逸軍は殆んど無抵抗で第一線から後退しジーグフリード線に據つた、此の間英佛空軍は北部ザール鑛合の軍需工業密集地帶を猛爆し之に潰滅的打撃を與へ、また空軍の他の部隊はデーセン地方に空襲を行つて成功、特に軍需工業の中心地エッス、バイラー、シュトルベルグに多大の損害を與へて居る、昨日フランス軍襲撃中に空軍は國境を越ねて進撃し空軍三百機は地上部隊と協力行動中であるは右の事實を物語るものと解される

ドイツ方面よりの報道に依れば獨逸軍は今なほ純粹に防衛的態勢を執るべき旨指令されて居ると云はれるが獨逸軍の意圖としては其のポーランド攻略が完成する前にフランス軍の戰鬪力が著しく減殺されることを期待して居る模樣

分捕り迫撃砲で返禮　布施部隊

本日のオタワ議會に於ける
本日のカナダ參戰を仄かす
『加奈陀は既に戰時狀態』

ニューヨーク七日——バーゼル發エーピー電はバーゼルの中立國軍事消息通の報道としてフランス軍は既に獨佛國境を越ねて十數キロ進撃しドイツ軍は無抵抗で後退した旨次の如く報じて居る——獨佛兩軍の動きをスイスより觀望してゐる中立國軍事通の言に依ればフランス軍はマジノ線を守る老巧部隊を用ひて既に國境線より進撃ジーグフリード線の第一前進基地を奪取し特に佛領ザール・グミーヌに相對する地點の孤立堡壘を奪取、ドイツ軍は殆んど抵抗を加へずして第一線より十キロ乃至十五キロ後退、ジーグフリード線の主陣地に據つた、フランス軍の前進は最も深いところで數キロに過ぎず、此間獨佛兩軍の飛行機は屢〻上空より敵の地上部隊の行動を偵察して居たが空中戰は殆んどなかつたと云はる

カナダの重大運命を決すべきオタワ緊急議會は本日開院となつたが加奈陀總督の勅語內容から推してカナダもいよ〳〵對獨戰を宣するのではないかと云ふ空氣濃厚である、即ち勅語中に

（一）カナダは「今戰時狀態」によつて云々の文句あり「カナダが更に有効的手段を執るべき諸提案が諸氏の前に提出されん」云々の字句もあつたこと

（二）今や戰時狀態にある加奈陀は今後必要なる豫算を編成すべきなりとの字句があつたこと

（三）カナダ國民は英帝國各國民と同樣英國を支持後援すべき準備云々の文句があつた事なども重要視されて居る、何れにしてもキング首相は近く參戰問題、豫算問題、徵兵、カナダ軍派遣に關する件等を上程するか明日にならなければ解らないと言はれる

エンプレス船出港の許可

獨潛水艦襲撃を恐れ上海黃浦江に碇泊を命ぜられてゐたジャパン號、エシア號は昨日その危險なき事が判明したので英海軍當局はその出港を許可し香港に向け出港、その他の英國船舶も支那各港から出港を許可された

戰爭と晚香坡
失業者の應募

△戰爭來の聲で晚香坡では一昨日も結婚ライセンス申請者が九十二件もあり昨日も相當あつたピクトリアでは昨日四十組で殆ど一ケ月分を一日で發給したことになる

△晚香坡市內には年頃の青年がウヨ〳〵してゐるが募兵に應ずべきか否かを迷つてゐるものが相當ある、他方失業青年で救濟を受け難いものの應募兵者が昨日頃からソロ〳〵現れた

△戰爭はビーシー州產果物類の歐洲向け輸出に大變動を來し今後ドウなるか心配されてゐる、英國から既にオーダーが來てなほ輸出しないものも相當ある

△昨紙報道ビーシー州出身者最初の戰死者は英空軍飛行士であつた、なほ昨日トロント出身のカナダ飛行士も獨佛戰線で戰死

△歐洲戰爭はピンと太平洋沿岸に響いて晚香坡の軍需關係工業は活況を呈し株なども〳〵上つて居る模樣だがアメリカの沿岸一帶も第一飛行機製作工業が大繁昌を呈し、結婚數が急に激增、在米各國領事館は募兵や歸國等で大ゴッタ返して居る有樣だ

平安丸船客

平安丸は本日午後二時入港、當地上陸者は左の諸氏

在晚香坡領事仲內憲治、同フク、飯田リエ、音樂教授長野春市、狩谷愛子、福山彌一、同髮代、同加奈雄、一岡清治

仲內新領事本日着晚

小島楯太郎、同國雄、近藤孝三、二階堂キミ、同タカ子、岡本正、大橋正雄、坂口豐喜、同靜枝、同豐子、山下テル、田中重平

濱田國松氏昨日急死

東京七日（同盟）——衆議院議員、政友會顧問濱田國松氏は昨日朝腦溢血で急死した、享年七十二、三重縣出身

泉鏡花の死去

東京七日（同盟）——我が文壇の巨匠泉鏡花氏は去月來肺病で麴町六番町の自宅にて療養中であつたが本日午後遂に死去した、享年六十七、石川縣出身で尾崎紅葉の門下生

オメリアさんの通夜と葬儀

故オメリアさんの通夜は明金曜日午後八時から葬儀は九日（土）午前十時からカソリック教會で行はれるが教會關係者は葬儀に成るべく多數同胞の會葬を期待して居る、また自動車所有者は提供を希望してゐる、尙花環は教會の掟で差控へられたしと

各國の外航路船
當港で取調べ
イングリシ灣で

晚香坡港は今後非常手段をとつて海軍の手でポイント・グレーとアトキンソン燈臺以內の海上に特別監視船二隻を配置することになり同時に當港に來る外國船は悉くイングリシ・ベーに一旦停船させて一々檢査する事になるだらうと云はれてゐる、

此の爲め船主又は代理店は來航を前以て當局へ通告し乘客や貨物その他の點を報告せねばならなくなる、當港は今のところ豐歐洲向け輸出に大變動を來し今夜を問はず開港してゐるが天候が惡かつたり霧が深かつたりする場合は港を閉鎖する事になるらしい

晚香坡の商店
食料の値上げ
そろく問題

晚香坡市では一部食料品の卸小賣値段が上つたので世間では早くも問題にして居る、同時にオタワ戰時暴利取締局でも頻りに警告を發して居るが、バターなどは品充分にも拘らず商店で一パウンド三仙も値上げした爲め各方面から其の理由を質してゐる位だ、右の無斷値上げの理由に關して當市の小賣商組合では何等の理由も公表せず返答に困つてゐる有樣、更に砂糖も上がりつゝあり麥粉も其々デパートでは先週一弗四十九仙のものを本日は一弗七十九仙と一擧に三十仙も値上げしてしまつた、砂糖などは原料が濠山あるにも拘らず商店の方で勝手に上げたものらしいと云はれる、更に商店で食料品を密藏してゐる傾向もあるので此方面に對しても大衆の不便を來さぬやう檄が飛ばされてゐる、戰爭になれば自然物價も騰貴するのであるが夫れを見越して今からストックを出さないものがあるからだと言はれてゐる

◇

久間文治　晚市西デヴーデヤ街一九六九　電話ツリニヤ四七〇二

晚市アレキサンダー街三六二　電話ツリニヤ〇七二三

ATCM 仲靜枝　晚市メーン街一九一　電話ツリニヤ〇五九〇エル

▲三等白米　百斤入　四、五〇
▲別白米　五十斤入　三、五〇
▲最上モチ白米　十斤包　五七
▲白サトウ

米屋商店　647-9 Hastings St. E. Vancouver, B. C.
●下熱膏一手販賣

ピーシー蒲公英　渡邊琴子　電話シー五三三二

求　男子求む場所バウエルリバ　月給廿弗照會ッー〇七三三エル

求　グロサリー配達ボーイ入用　電話ベビュウ〇九九二

募集　□シングル切り出し　十名至急入用　ステーブホールス中田キャンプ　申込所　蛭崎商店

シルク物に經驗ある裁縫婦人を大至急に求む、東カドバ街三六八岩田裁縫工場

人員募集　二十名　シングル切一コード一弗七十仙　切り出三弗八十仙食料共同持ち　大至急募集、場所平キャンプ、ステルワター　蛭崎商店に御照會

求　裁縫婦人十五名　電話ツリニヤ一二一六

▲新式ホテル、ルームスの特安賣　間數五十、場所絕好兩街に面し各室明く廣い家賃低廉　▲リース付賣價　三千五百弗

仲介業　水原事務所　晚市バウエル街二四三　電話シーモア三四四七

日本行船切符取扱店　ピアノ並にセオリ教授　ATCM LRSM　加藤萬里子　晚市西第六街一二三四　電話ベビュー三九七九ワイ

法律事務所　エッチ・ヤング　ドミニオン・バンク建物內一〇九號室　電話シーモア二七八七（日本語を話します）

晚市バウエル街三八一　曾我運送店　電話ツリ四七八八アール

結婚及葬式用花類　バウエル街二七〇　中村花屋　電話シー五九三五

シンガーミシン　日本人最古の經驗ある代理人から求めになれば即座に修繕其他の事が間にあひ貴樣の御便利御德でありますシンガーミシン取扱へる御電話次第速刻御相談にお伺ひ致します

越　バウエル街二三八　運送業　電話シー三五二八

御結婚寫眞には特にニューヨークに於て研究した斬新なる背景と技術を用ひて本館でなくては見られぬ撮影を致します　遠山寫眞館　コロンビアスチデオ　電話シー二七二三　自宅アキスター一八五〇エル　晚市メーン街三二三

Singer Sewing Machine Co. 393 Powell St. Shop Phone Sey. 1326

本社は日本人各位の御便利の爲め各種ミシンをバウエル街ショップに取揃へて居ります　新古ミシン取換へに　電話シーモア一三二六　マネジヤー　自宅バイ五七六八エル

新ミシンお求めの方は是非當店に御用命下さい　附屬品一切も取そろへてあります　バウエル街三九三

一般公代理業務　奧村事務所　電話シー二八壹貳　住宅バイ三〇六三アール

○土地家屋、ルーミングハウス○各種商店レストラン等見込ある場所に安價な賣物澤山あり○火災自動車盜難保險　晚市バウエル街三四

野菜　フルーツ卸商　堅實なる經營は安心して取引出來ます　晚市東ジョージア街二五一　高橋　Coast Growers Produce Co. 251 Georgia St. E. Tri. 1970 Vancouver, B. C.

○今回日本人タキシー業者は全部（メーター）に依つて料金を申受ける事に致しました　晚市日本人タキシ

名畑タキシー　ハイランド〇七六五

オーケータキシー　西第二街一六七七　電話ベエビュ五九二一七

シヨウワタキシー　シーモア二八八七　バウエル街二六一

高田タキシー　電話ツリニヤ〇八三六　シーモア八七五七

ヤマタキシー　電話シー一四一四　1415

結婚には特別豪紙及ハリウッド撮影法あり　子供には獨特の技術あり　集合には機械其他設備あり　バウエル街二二四　村上寫眞館　電話シー七四五　自宅フェアモント三六二七エル

ニューケーキ　滋養百パーセント　ケーキ　マルラッドミルク　ケーキ　バナナ　特製カスタード　ケーキ　結婚式用ケーキは美味しい品を調製致します　晚市バウエル街三九二　住よし

舞踊教授所　若柳流師匠　外海トミ　晚市バウエル街三五三　ツリニヤ四七八九エル

花　花束花輪　一切の御用は是非當店へ　晚市西第四街二三五六（キチノ圖書館前）　金魚卸小賣　イーノー花屋　佐々木栄三郎　電話ベービュ七八八一

オメリヤさん（レスター・メリースチラ）事昨夕五時半心臟痲痺で急死されたから日本人の皆樣にお知らせ申上げます　追而通夜は明金曜午後八時から葬儀は九日（土）午前十時からカソリック教會で行ひます　九月七日　日本人カソリック教會　フランクリン街一七六六　柳澤元仁　電話ハイ五九七八アール

女の教室

吉屋信子

(180)

科學者の道 (三)

操は、母が戰爭について、頗る關心を持つて、熱情的に言ふ樂を感じて

「天來よ、日本は亞細亞、とてもよく調つてゐるんですもの——」

「そりやあさうだらうともさ——なけゝど支那だつて、なか〳〵こんぢは强くつて」生命だつていふから——日本の兵隊さんも骨が折れるぢやよ、なにしろ、これはつかりは、始めつから命がけで、かゝるぢやからね、ほんとに大變だ」

「ほんとにねえ、どんな文化の時代になつても、人の命をたくさんぢろぢし合ふ、戰爭つてものは、どうしても避けられないのかしら?」

操が、言ふと

「將來行つて人がわかるやうぢから戰爭になつたんぢつてね」

「ホ、ゝ」

姉が笑ふと、やつきとなつて

「笑ひごとぢやないよ、ほんとうに——寄宿舍の看護婦さんたちも、赤十字のお免狀持つてゐるひとは、早く現地へ出かけて軍病院で働きたいつて言つてるしね——」

「若い白衣の彼女たちの胸の火を、この戰ひが燃え立たせてゐるのを操は知ると——たゞ朝夕學校の研究室で病理學の標本製作や、實驗助手に專心に沒頭してゐる自分のひたむきな熱誠をかへりみた。

「お母さん、あのね、目醒戰爭の時にね、天來藥に閉ぢ籠つて亞の側にかじりついてゐて、とうとう自分の國に戰爭のわつたのも、ろくに知らずに暮した學者がゐたんぢつて——」

「へゝ、よつぽど、ぼんつくな學者さんだねえ、第一、それでは祖國に不忠義ぢよ、いくら學問ぢつて、自分の國があつてその學問ぢやないかい——」

操は、戰爭を知らなかつた天來學者には、不服だつた。

「でも、さうした科學の研究もやはり國家の爲に、大きな貢獻

そのさびしい山寺の横から、小徑を辿り登つた、田園の平地が、墓地だつた。

松の茂つた木蔭の墓地は、涼しかつた。

ふたりとも、やつぽ泣つぽした。

小さい、かたばかりの父の墓のまはりには、螢草が咲いてゐた。

「お父ちやん、操とやつぽ泣き

りに來られましたよ、さびしかつたろにねえ」

生きたひとに話しかけるやうに操は手拭で、墓石についた朽葉を拂つて、持つて來た線香を出して火をつけ、

「操や、よくをがんでゆくんぢよ、またちよつくらぢは、來られないからね」

線香の烟が、山の松林から吹きおろす風で紐を結んだ形に漂ふ前に——操は眼をとぢて合掌した。

「お父ちやん、この子も、まだ博士さんになるまでは勉强させますからね……」

操は、傍で墓石に、告げてゐる。

拜み終つて、操が立つて山から村落の方を見おろすと、富士見高原を經て、上諏訪へ通ふ街道が、一筋白い帶のやうに、陽にくるめいて見える。

「あゝ、やつぱり年齡のせゐで疲れるね」

母の聲がした。

母は、松の根株に腰をおろしてげつそりしてゐた。

その母の顏も、身體もながい年月の、甚ひ知らぬ勞働に、こはばつてゐるのを感じた操は——胸が痛くなつた。

風のやうに

片岡鐵兵

(104)

淸い空氣 (四)

「院長さんには、よく云つてあるんぢが、取扱ひは、丁寧ぢ?」

「何から何まで、いろいろ——」

民江がさう念を云つてゐいて、お茶の支度のために、茶器を持つて、廊下の流しの方へ出て行つたあと、二人はしばらく默つてゐた。

「疲てらつしやい」

しばらくして、瀨戸は、ベッドの上に起きあがつてゐるゆみを、いたはるやうに云つた。

「この方がいゝんです。今までずつと横になつてたもんですから——それに、今日は、熱もないやうぢです」

うつむいた小さな頭さへ、重さうに見える病人の頭すぢに、おくれ毛が二すぢ三すぢさがつてゐるのも、可憐に見えた。しかし工場で働いてゐる時のゆみとはまた違つた魅力があると瀨戸は思つた。そして、女のいろいろの魅力に惹きつけられる男ぐゝろといふものを、いぶからずに居られなかつた。

「さうしてゐると、君は馬鹿にしはらしく見える」

「あら、しはらしいなんて」

ゆみは笑つた。きつと、この人は自分を切勝りなぢと思つてるのだらうと思つて、可笑くなつたのだ。

「それはさうと、佐野さんのお嬢さん、怒つてらつしやいませんでした、青木さんが、すぐぶん出鱈目いつて……」

「なに、大したことぢやないぢせう。それよりも、君はどうです、青木を怒らせて、悲觀してるんぢやないかな」

「そんなこと、ありませんわ」

彼女は折角しづかに元の色になつてゐた顏を、眞赤にして、

「あの人のことは、何言らないで下さい」

「いや。かくさなくても宜しい君は彼氏を愛してゐるのだ。ねさうでせう」

彼女は眼を伏せたまゝ、肯定するともなく否定するともなく默つてゐた。

「しかし、僕は、彼氏の不機嫌は、嫉ぢとはして、君を入院させたんぢ。それが、絶對の必要だつたんぢからね。」

「それは、分つてゐますわ」

「たとへ今は青木君を怒らせても、君の身體さへ大丈夫になつたら、彼氏にとつても幸福ぢらぢやないか。君の身體がよくなりさへしたら、僕から青木君に詫つて上げますよ。彼氏も頭はいゝんぢから、話せば分らぬ人ぢやない」

「もう、どうぞ……」

「一時、怒らせるのは、仕樣がない。將來のためを想へばね。僕は、決して君たちの仲を割きたくて云ふんぢやないが、君の病氣なぢ、どうならうと構はぬ惚たもの〳〵自由にさせて呉れろといふやうな青木君ぢつたら、このまゝ喧嘩別れになつたつて君にとつて不仕合せぢやないぢとさへ云ひたいんぢ」

「分つてゐます。その通りですわ。それに、あの人、あたしの身體のためなぢ思つて呉れるのぢ、しん底からあたしを愛してなんかゐませんわ」

ゆみは、お坐なりではなく、非常に斷定的な云ひ方ぢつた。

▽—笑話—△

時代と蟲

娘「お母さん、あたしの着物に蟲がつきました。」

母「でも、お前の着物人絹ぢのに。」

娘「ぢつて、これからの蟲は人絹を嫌つてゐては暮せないわ。」

ウイルス煙草

卷いて吸ふにはウイルス・フアインカットに限るデス

チューブを用ひても紙を用ひても思ふ樣に卷けて輕いウアヂニヤの何とも云へない味がする

一バケット十仙及十五仙

家庭には經濟的な半斤入罐を

VANCOUVER PACIFIC PAPER CO. LTD.

紙の御用は當會社へ

包紙、紙袋、色紙、油紙、トイレットペーパー、其他ペーパー類一切クラフ糸、カザリ糸、文房具種々卸賣

ワター街一六〇

晩香坡パシフイツク・ペーパー會社

日本人部代理

堀詩次郎

電話 本社ツリニチー六三一 自宅ツリ四七九〇アール

日本品愛用

○伊豆スルメ ○剣先スルメ ○青板昆布 ○利尻昆布 ○厚板昆布 ○白板昆布 ○青切昆布

○鰹節 ○花鰹 ○イリコ ○淺草のり ○椎茸 ○切麩 ○八千代麩

ニューフイシマーケット

新魚市場

晩市バウエル街三九四 電話ツリニチー二九九六

最新型 タイプライター

學生諸君の實用向として

特價 六十五弗

五弗拂込五弗月賦

數に限りがありますから至急御申込み下さい

レミングトン會社

代理店 大陸日報印刷部

電話ツリニチ五五三三

Atlas Tire AND BATTERY

安價にて堅牢を誇る

アトラス タイヤー 一手販賣

朝日グラーヂ

電話ツリニチ五五四五 自宅ツリニチ四八七六エル

△新古自動車取次販賣

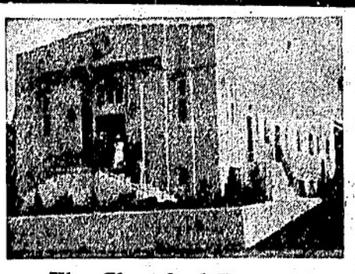
一九三五年式シャブレー、ペックアップ 四百三十五弗

一九三一年式クライスラー、六シリンダン 三百五十弗

一九二八年式シャブレー、コーチ 百廿弗

●御利用下さい—キングビーモーターテスト

右のテストにて古車も新車同樣に走ります



The Chapel of Repose

御葬儀は

日本人葬樣に最善のサービスを致します弊社に御用命下さい

遠方にても少しの不便もない樣に致します

電話次第御伺ひ致します

晩市キングスウエー三六四二

最も古い歴史ある

セントラル・パーク葬儀社

日本人紹介者 支配人 久岡文治 スウエーン

電話デクスター一二〇七

日本郵船 C.P.R. アメリカンライン 日本行船切符

C. P. Express Money Order 販賣代理店

橫濱正金銀行預金 送金無手數料取扱

米精貨雜食料和洋

新西院市 西口商店

電話 壹壹六壹—一八八五 住宅 九〇九X

開業廣告

△永らくアームストロング葬儀社に働き、日本人にはお馴染のクリヤリ氏は今回市内東〈スングス街七四二番に

ホーム葬儀社

を新築、總て近代的設備、葬儀用品一切を取揃へてゐる、棺の用意もあり、六十弗、八十弗、百弗以上各種

△親切丁寧にサービスを致します

ホーム葬儀社

電話ハイランド六一九四

公債 確實な相場は本社より

日本帝國政府保證附=各種公債賣買

▣確實信用ある公債買入は幸福への近道

種類 英貨、佛貨、米貨、東京市債、横濱市債、東京電力、宇治川電力、東邦電力、瀧澤電力、信越電力、東洋信託、滿鐵

▣利廻年二回=年四分以上七分(利付)

◆御照會の際には「ジャパニース」と御呼び下さい

公債 グレハム・マクドナルド會社 賣買

日本人代理部

晩市ホール建物内三一六—二〇

電話ツリニチ二七七一二

良い品をね安く 古屋商店

◆學校用品賣出し

スクール オープニング!

入學に進級に 一路勉學へ

ノートブック	三六ページ	特價	一打 三〇仙
同	八八ページ	同	一打 七〇仙
同	二三六ページ	同	一冊 一〇仙
タブレット	七〇ページ	同	一打 四五仙
ルースリーフブック(カバーシーツ付)		同	一冊 一五仙
ペンシル		同 極上	一打 四〇仙
		上 同	二五仙

其他インク ルーラー 萬年筆 スクールケース スクールバック

或は御通學用スエーター パンツ 靴 靴下

等總て特價で御願致します

バンクーバー 電話シー二九三三

ソーダスト 薪炭

電話にて御注文下されば直ちにお屆けいたします

パウエル製材

薪炭會社

バウエル街一三五五 電話ハイ 四五六七 四五六八

廣東進軍抄 火野葦平著 入十仙

麥と兵隊 同 七十五仙

銃後國民讀本 文昭社發行 六十五仙

ユダヤ問題と日本 宇都宮徳馬著 一弗四十仙

内田書籍店

電話シー四二三〇

S.UCHIDA 347 Powell Street, Vancouver, B. C.

新入荷藥品御案内

胃腸藥 アペチン錠は純良(ーフエ劑にして榮養價値に富み、ビタミン(ビー)神經榮養素レチチン、グリコーゲーを多量に含み消化不良、食慾不進、便通不整乳兒榮養障害、綠便、發育不良の良藥 一弗

耳疾藥 ドイツ式點耳劑パロヂンは最も藥効の正確、敏速なる唯一の原因療法なりと大庭博士推奬の優良藥 一弗五十仙

蓄膿藥 オートゲンの服用により体内の新陳代謝を旺盛ならしめ耳鼻咽喉に漸次波及し蓄膿自ら減退し毫も苦痛なく手術を要せずして短期間に所期の効果を收めしむ 二弗七十仙

まむしの黑燒 古來より有名な榮養强壯劑 身神の衰弱に、性力の減退に 二弗五十仙

晩市パウエル街三九〇 電話シー三八三一

カメラなら近藤で 現像燒付引伸なら近藤で

近藤特許賣藥店

O KONDO 390 Powell St. Vancouver, B.C.

◇シホ 干潮 滿潮

五日 午前三、四五 午前十、二九

蛇道萬華鏡

津村京村作
藤塚信平畫

……（107）……

（九）

その瞬間――

「ねゑ旦那さん！」

と、前に立て掛けた鏡の中に映つてゐる長十郎の顔がにやりとした。

「……」

「ねゑ、然うしてぐつと振りしめた剃刀で、いつそ一ぺん思ひに殺つてしまひていだらう」

「はゝゝ、その顔に、さう書いてあるぜ。だがまあそんな感いがあるもんか」

「……」

旦那は、最う、長十郎の心の中を見透かしてゐる。

「人形」だつた。長十郎は人形使ひ――彼の心の動くまゝに、旦那の手足は動かされた。

それでも、どうかすると、時時例のムラ〳〵した氣持が込み上げた。そしてその瞬間剃刀を持つた手に、強くぐつと力が這入つた。が、その刹那に、旦那はすぐ前の鏡に映つた例の冷たい眼を見た。

（なかつた。

「よし自分で掛けてやらう！」

さう思つて考へた。柳井十郎と云ふのも勿論、彼自身の出鱈目だつた。その「柳」の字を取つて彼は考へた。

「よし（柳金）！これでいゝ」

若旦那長十郎――否、柳井十郎改め、俗に「柳金」！よしこれでいゝと彼は自ら命名した。彼は早速偽の机の前に行つて筆を執り、半紙の上へ「柳金」と書いて旦那の前へ持つて來た。

「さア旦那さん、これからどうか斯う呼んでゐゝんなさい！」

「……」

旦那は只唖然として言ふべき言葉も出て來なかつた。

然し長十郎はつひにそれを押し通した。

その翌朝、彼は靜かに住慣れた家の前に行き、

「暇に以て禮遇仕ら――」と、自ら作つた假形で平伏した。旦那はもう何も言へなかつた。

▽…都々逸…△

わけのわかつた、いゝ人だけに、ちよいとあたしにや、荷が重い

▽―△

鳥も雀も、嫉いてるらしい、眠つたばかりへ、なき騒ぐ

▽―△

不實な女に、なりたくなくて義理と世間を、秤にする

▽―△

もとの他人に、なりきれないで、けふも泣いてる、窓の月

▽…川柳…△

ふと顔の證き場に困るバスの中

▽―△

もう一つ流星を見て窓を閉め

▽―△

吸入器りでた〳〵塵にまみれ居り

×寄×附×欄××

堀いと氏は故堀庄太郎氏息明に十五弗、會堂使用料に三弗堀來道氏は痴來金快祝に二弗何れもキチラノ佛教會へ

「ふゝん！」

と、その眼が言つてゐた。

「……」

なまじッぴすると旦那は、又心どなしく剃り出した。

やがて、長十郎の頭が、ツルリと綺麗な坊主になつた。

「ホウ、いゝ坊主になつたなア」

一寸鏡を覗き乍ら、長十郎は我れ乍らほゝゑんだ。

「さア今度は法衣だ！」

旦那の身に合つた法衣だから大男の長十郎には短かつた。それでも金ぴかり手が通せない事は無かつた。

「樽々々、それで本物だ！」

長十郎は、もうすつかり坊主になり澄ました。只殘るのは名前だつた。何か僧名が欲しかつた。然し、彼は住職に頼んでも仲々直ぐに附けて貰へるとは思料簡を出さねゑでなア、俺は先刻も言つた通り、決してお前の敵ぢやねゑ。仲間だ。兄弟だ。仲間欲しさに喪び込んで來たこの俺だ。さあいつまでも仲好く仕ようぢやねゑか。――」

「……」

剃刀を持つた旦那の手が、微にぶゝゝと慄えてゐる。

「さア、そんなに厭な顔をしねゑで、可愛い弟子を拵ねると思つて、いゝ氣持でやつてくんねゑ」

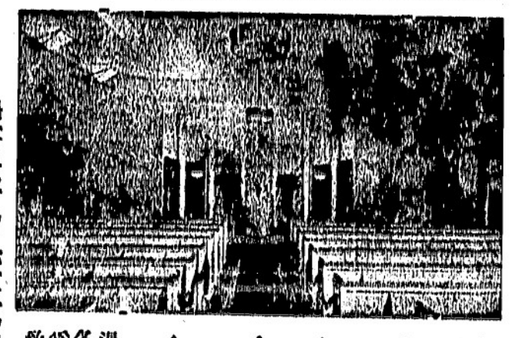
「……」

「さア愚圖々々しねゑで――」

「ゐゝ、い、今やります。今――」

やがて、旦那は剃り出した。

「危ねゑ。そ、そんなに慄ねゑちやア危ねゑよ、確かりしてやつてくんねゑ！」



新築禮拜堂
△晩香坡一を誇る近代的内部是非一度御覽下さい
△御通夜、葬儀には無料にて御貸致します
△御數十人のお茶のサービス出來る別室の用意がしてあります
△葬儀には七人乘タキシー一臺無料提供
過去廿七年間の日本人各位の御愛顧に酬ゆる爲め最善のサービスを致します
料金は五十弗、七十五弗、九十五弗以上
晩市ダンレビー街三〇四
アームストロング葬儀社
電話ハイランド〇一四一

シャンテクラー
シガレット紙
貴族的な喫煙者はこの卷紙を使用される、何故なら紙質が軟く薄く剃が充分に付いてゐるからである

自動式に紙が出て來る
複式ブックが僅か五仙

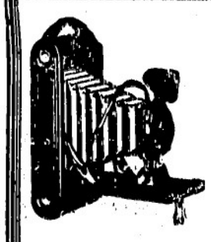
◇通辯一般代理業
日本行船切符取次
濱岸事務所
アレキサンダー街二四〇
電話ツリニ四三七四アール

◇ビルダー　サプライ
各種ランバー、シングル、ドアーウインド、ネール、セメント其他建築材料一切最も安價にて販賣いたします
御住宅、鷄小屋、ペーン等の請負を專門として居ります
電話或は郵便にて御通知下されば遠近に拘らず早速セールスマン出張の上見積値段運搬其他萬般御相談に應じます
ファンリッチ製材會社
瀧本與次郎
ビーシー州ポート（ネーツランク・クツンライン・ロード角）
電話（ヤード一七九）
同（ネー一三五エル六八）
自宅同

小生儀過日右腕の骨を折り早速林醫士の診察治療を御願致せし所僅か一週間にて全治致し林醫士の折骨打撲に對し卓越なる技倆を推稱し感謝しました林醫士は斬傷腫物筋痛挫骨皮膚病一切及神經痛、淋病等に獨特調製に依る藥は實に偉大の効力があり又打撲傷や挫骨筋違い等には長らく經驗あり如何なる重傷にても速かに全癒する事は疑ひなく日本人間にも熱知の通り若し右の樣な際は早速林醫士の來訪を御願する事を御勸め致します特別に日本人を歓迎優待し親切に治療致します
スタブストン　秋本重則
東ベンダー街九二
電話シーモーア二四九一
恭頌林醫士
妙醫

B.C. WOOD & COAL CO.
割薪値段
インサイド　ファー　一コード　六、五〇〇
同　半　三、五〇〇
同二等品　一コード　三、〇〇〇
同　半コード　六、〇〇〇
同三等品　一コード　三、〇〇〇
同　半コード　二、七五〇
ヒーター　ブロック　一コード　五、五〇〇
半同　三、〇〇〇
ファー　スラブ　一コード　四、五〇〇
半同　二、五〇〇
御電話下されば早速お屆けします
ウツドランド街埠頭　エチング　三、五〇
ビーシー薪炭
電話ハイ〇九一一五
夜間ハイ四四一三アール

晩香坡市バウエル街三八〇
昭和倶樂部
電話シーモア四五三三
（事務所用）電話ツリニチ五五二二



現像
焼付
鹹心
鹹意
晩香坡市バウエル街二四九　電話シーモア四八八四
誠心堂
249 Powell Street Vancouver, B.C.

鼻が悪いと頭腦にさはる
外用ハヌース（HANUS）定價一弗二弗
ハヌースは種々の鼻喉疼痛に對して鎮靜の作用
鼻喉黴菌に對して殺菌消毒力
鼻喉炎症に對して自然に治す力
鼻喉のせきに對して靜める力
鼻喉血行の不調に對して調へる力
春から夏にかけて鼻が悪くなる人が激增する時一日ふくるれば悔を千載に
のこすのみ、速に外用ハヌースを御使用せられよ
寫眞　現像　燒付　迅速　美麗
其他各種附屬品一切

コーヒー、チー
パイ、ケーキ
シスターカフエー
千鹿湯
晩市バウエル街四二七
電話ハイ四〇二二アール

惣菜料理うどん、そば
天ぷら、丼物
出前一切
バウエル街二五八
現代的料亭
つばめ
電話ツリニチ一〇五六一

朝早くからお仕度が出來て居ります
バウエル街三五〇
簡易食堂
一富美
電話シー〇八三四

鰻燒うどん、そば、
丼物一切出前いたします
バウエル街二五〇
天狗
電話シー三五三八

ちり鍋、すき燒
ゴーア街一二八
玉川
電話ツリ四七九アール

御料理
日の丸
バウエル街二六六
電話シーモア三〇七九

スキヤキ小料理
バウエル街三三〇
こまつ
電話シー二〇〇三

御料理すし其他
バウエル街三六二
林家
電話ツリニチ一三七〇〇

晩市ゴーア一三〇
樂々
電話ツリ二七〇六

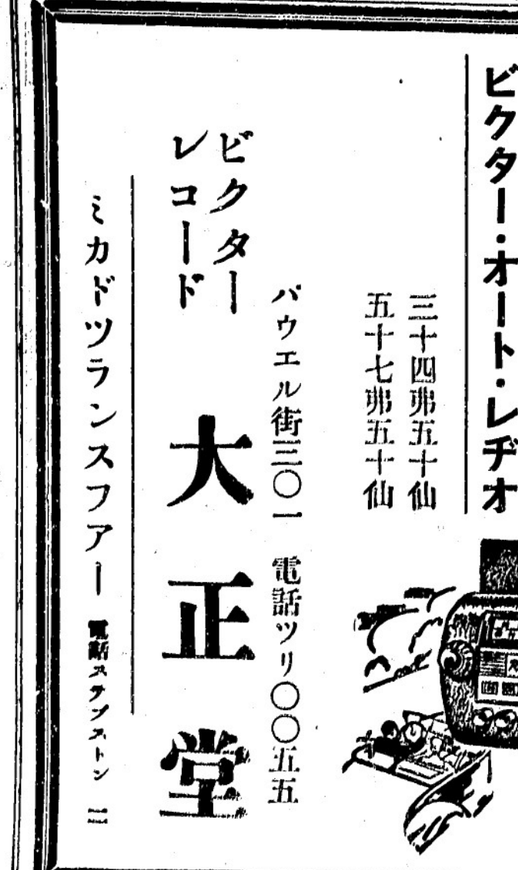
大工一道具切
晩市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ツリニチ〇二三七

御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘ず配達します
バウエル街三四二
パウエルベーカリー
布田鶴一
電話ツリニチ五五二二
住宅西第七〇街一一九八
自宅電ランガワ〇六〇七エル

シンガーミシン
日本人代理人部
堀七藏
電話フエヤー一三八六エル

和洋御菓子
○特製祝菓子並に厨餅大勉强致します
晩市バウエル街三三二
電話シーモア〇八六一
武藏屋

◆魚類
◆肉類
◆青物類
◆カマボコ
◆和洋食料品
バウエル街二六二
茶木魚店
電話ツリニチ五五四二



●高等南京料理
コックは明國の腦き、で料理は貴樣のお口に合ふやう
美味に調理　値段は大々的勉强
晩市バウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

荷物運搬は凡て確實
親切
御滿足で
好評な
晩市バウエル街四六三
運送社へ
電話ハイ一五六六

和洋雜貨食料品
晩市バウエル街五六六
西村商店
電話ハイランド一二七五

男女子供靴一切
晩市バウエル街七九一
電話ハイ〇九二七エム
加藤靴店

男女着類一切
晩香坡市バウエル街三七四
澁谷商店
ツリニテー5525

鮮魚肉類野菜類
食料品一切
バウエル街三五三
自宅電話ハイ四九七九アール
スター魚肉店
電話シーモア一〇八九

熊本

和洋雜貨食料品
漁船用具一切
ポートエシングトン郵便三二
岸本商店
P.O. Box 31,
Port Essington, B.C.

和洋雜貨食料品
東洋商業會社
P.O. Box 46,
Port Essington, B.C.
主任大橋松次郎

Canadian Japanese Ass'n
329 Gore Ave., Vancouver
加奈陀日本人會
晩香坡市ゴーア街三二九
電話ツリニ〇〇七二

傳來先祖
名灸骨接筋違
男女諸病一切及び子供のかんの灸
慢性胃腸病、婦人病、つわり
ビーシー公認マッサージ
晩市プリンセス街二四一
電話ハイランド三〇四二エル
鎌倉

バウエル街
前川魚肉店
電話ツリ〇三八七
同ツリ〇三八六
住宅ツリ四七八七アール

この
販賣
造
製
か
ま

川出製箱會社
電話ハイランド一〇九〇
夜間ハイランド六〇八四エル

林榮進堂
電話ツリニチ一〇二七八エル

西畑ブリキ工場
電話ハイ〇四二六

でお貸し致します
け致します

名歌手も街頭演奏！
戰雲のポーランド語る

傍に立つ中　ブラとエッツルト

イタリー中部極東協會から招かれて今年一月ローマに渡つた若き聲樂家、横濱市中區山手町小船幸次郎（三）氏が八月十一日夜七時四十五分歸京した

獨學で作曲指揮に精進し聲樂界の余技を利用した同氏はその日獨逸に自作の「紗幕」「交響ナンバー・ソン」が國際作曲コンクールに入選したなどいふ空前二重奏の主

六月風雲急しいポーランドからフインランドに樂旅をのばしソルシヤワでは世界的ソルシヤワ・ソイル・パーセニー樂團を指揮、現代日本作曲家の作品にタクトを揮ひ作曲日本のため氣を吐いた

「ソルシヤワに入つたのが六月二日、さすがにダンチヒ問題で切迫した空氣がヒシ〳〵と感じられ街頭を『ドイツに服するなら』と大扇を翻した市民のデモンストレーションがゆく、廣場ではこの國生れの有名なバイオリン・ジャン・キープッとヴルタ・エッグルト夫妻が國防獻金の演奏會をやり街の人氣をかつさらひといふ調子です、しかしこの空氣の中にもさすが反ソ放送の本場だけあつてわれ〳〵日本人への感情はまた別のなごやかさ、インテリ層の日本愛慕も頼母しいものでした、これといふのもポーランドがロシアの壓制下にあつた歐洲大戰末期、シベリアに流刑された志士の遺兒八百名を親切に送還してやつた日本の好意がいまだ肝に銘じてゐるからです

當時の遺兒たちは今では立派に成長して祖國の一線に立ち極東青年會を組織し日波親善の中心となつてゐますが、新人たちを無學文盲にしないために非常に苦勞してゐるが、結局法律の許す範圍で善良な伯國人としての

教育

をうけ、それと同時に日本人の美點を織り込んでゆくやうにして居ります

それ故に教師が各家庭を巡回して日本人教育をなしてゐる實情です、農村の日本人學校は閉ざしても伯國政府は學校をたて〳〵くれず全く子供たちは可哀さうです」

故大使館及び同胞でも子供たちの教育に苦心してゐるとのこと、日本人小學校四百は閉ざされ日本語教育は滿十四歳以上でなければ許されず、わづかにサントス、リオデジャネイロの町のみで、それも教師は伯國人でなければならぬといふ條件で日本人教育がみとめられてゐるにすぎません、それ故大使館及び同胞でも子供たちを無學文盲にしないために非常に苦勞してゐるが、結局法律の許す範圍で善良な伯國人としての

教育

をうけ、それと同時に日本人の美點を織り込んでゆくやうにして居ります

それ故に教師が各家庭を巡回して日本人教育をなしてゐる實情です、農村の日本人學校は閉ざしても伯國政府は學校をたて〳〵くれず全く子供たちは可哀さうです」

故岩永裕吉氏盛大な葬儀

東京七日（同盟）――去る二日午後一時より青山斎場に於て同盟通信社々長、貴族院議員故岩永裕吉氏の葬儀は七日午後一時より青山斎場に於て同盟通信社々員の下に神式により執行された、各方面より贈られた多數供花、朝野の名士、外國使臣、陸海軍、國際聯盟代表、外國特派員等約三千名の弔客あり非常な盛儀であつた。

年や天長節などには大使館へ必ず記帳に來て君が代や愛國行進曲の合唱をやつて感謝を捧げてゆくさうです」（東京通信）

ブラジル政府が我が二世を壓迫
氣毒なと歸朝者語る

【横濱通信】我國ブラジル拓殖の第二世日本人教育の指導者として外務省から派遣されたブラジル日本人教育普及會主事五十嵐重虎（八）氏は八月十三日朝ブエノスアイレスから横濱入港の商船もんてびでを丸で歸朝した同氏はブラジル政府の外國人教育法律によつて壓迫を受けてゐるブラジル移民第二世の教育につき左の如く語つた

「私は昭和十年三月外務省から派遣されブラジル在留同胞第二世の教育に

從事

してをりましたが、昨年伯國政府が獨伊両國に加へた壓迫のとばつちりをうけて日本人もまづブラジルの善良として教育せねばならぬことになつて第二世たちの教育に非常な困難にぶつかりました、そのため農村にあらせられ十一時半演習終了、續いて御先着の陸院榮作總長宮殿下を初め各皇族方に御對面、陪觀の畑陸相、西尾教育總監以下各將星等に囲まれつた後御愛馬白雪に召され演習參加部兵を御親閲、終つて略式自動車國旗にて正午士官學校着御、便殿にて御休憩御昼食の後午後一時同校講堂にて卒業生の御前演習を聞こし召され續いて兩校卒業生による作業を觀なはせられ同一時五十五分同校々庭における卒業證書授與式に臨御遊ばされた

陛下には御機嫌麗しく同二時二十五分同校を御發、四時十分原宿離御着宮城に還幸あらせられた

陸士・航空士官學校
聖上卒業式に御親臨
空陸呼應壯烈なる演習御觀戰

東京七日（同盟）――陸軍士官學校同航空士官學校第五十二期生並に第十九期學生の卒業式は更も天長節を御當日七時半に御出門、神宮外苑の親閲を御覧の上、十時半陸士に、十一時半航空士官學校に御着、式を挙げ午前八時四十分陸式自動車國旗にて遊就館に御着、松宮相、百武侍從長以下の御出迎へを受けさせられ十時三十四分相模湾海岸に御着、山宮侍從長御先導上御徒歩にて高地の御野立所に入らせられた

◇

此の日天晴れて新秋の氣和武の山野に漲つ〳〵

陛下御座所に入らせられるや士官學校生徒隊卒業生隊の二隊に別れて壯烈なる演習を開始した、砲火の炸裂、喊聲の轟音、玆に空陸一体の攻防大立体戰は烏帽子山麓に展開、續いて航空士官學校卒業生による離陸演習が行はれた

陛下には山宮、寺倉兩校長の御説明に終始御熱心に御觀戰

此の日天晴れて新秋の氣和武の山野に漲つ〳〵

陛下御座所に入らせられるや士官學校生徒隊卒業生隊の二隊に別れて壯烈なる演習を開始した、砲火の炸裂、喊聲の轟音、玆に空陸一体の攻防大立体戰は烏帽子山麓に展開、續いて航空士官學校卒業生による離陸演習が行はれた

陛下には山宮、寺倉兩校長の御説明に終始御熱心に御觀戰

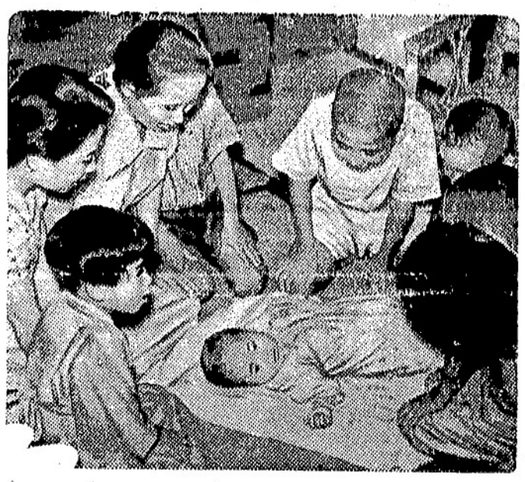
あらせられ十一時半演習終了、續いて御先着の陸院榮作總長宮殿下を初め各皇族方に御對面、陪觀の畑陸相、西尾教育總監以下各將星等に囲まれつた後御愛馬白雪に召され演習參加部兵を御親閲、終つて略式自動車國旗にて正午士官學校着御、便殿にて御休憩御昼食の後午後一時同校講堂にて卒業生の御前演習を聞こし召され續いて兩校卒業生による作業を觀なはせられ同一時五十五分同校々庭における卒業證書授與式に臨御遊ばされた

陛下には御機嫌麗しく同二時二十五分同校を御發、四時十分原宿離御着宮城に還幸あらせられた

紙はり

しを年の經驗を以て美しく後に歪り無しき個所出來たる場合は無料にてなはします

日本で新記録……横綱赤ちやん
おぎアと生れて一貫五百匁


日本一の巨兒…勝弘ちやんを圍んでのコニコニの家族

【東京通信】生れながらにして巨人――去る二月二十三日本所の慈育會病院で城東區大島町大工職田喜一（四）さんの妻とも代（三）さんが產んだ赤ん坊勝弘ちやんはその時五、六五〇グラム（一貫五百匁强）の體重に身長六四センチ（二尺一寸一分强）といふ普通三千グラムの赤ちやんの倍といふ大きさに介添への看護婦さんもすんでの事で取り落さうとしたほどで

分娩

に立會つた同院の產婦人科長屋代周二博士が日本一「自然娩出の巨大兒」と折紙をつけ、このほど「臨醫」はか數種の醫學雜誌に發表した

この赤ちやんは齋田さん夫婦の一ダース目の男の子、お父つあんが五尺四寸でお母さんが四尺九寸、男四人、女七人の兄姉がみんな並型だ、日本で巨大兒といはれるのは大体五千グラム程度、五千五百グラム以上ではまだ十人と報告されて居らず、おまけに今までの巨大兒は大抵死んでうまれるか後で死ぬかで、滿足には育たぬのが勝弘ちやんは去る六月ちよつとハシカをやつて體重八千グラムといふものゝ立派な肥立ちぶりである

八月十四日夜母親とも代さんを訪ねると
屋代博士は曰く

小柄な身體をアッパッパにつゝんで

「この子のお產の時はちつとばかり醫學の氣があつてお腹が脹つてたんで、まさかこんなでかい兒がうまれるとは思ひませんでしたよ」

また屋代博士は曰く

「アルフエルド氏の報告では世界レコードは一萬四千三百グラムとあるが、日本における完全な巨大兒誕出としてはレコードだ、兩親とも体格は普通、骨盤も普通なのに何故こんな大きな子がうまれたかは突發性といふ以外に原因はわからない、大きいだけに鷹揚でちつとも泣かないよ」

翼の五人兄弟
軍國の親の念願叶ふ

【所澤通信】念願の我が國最初の荒鷲五人兄弟の夢が漸く達成珍らしい軍國家庭が生れた……埼玉縣入間郡吾妻村北秋津住原政吉氏（五）ともとさん（三）夫婦は我が子五人を全部荒鷲に育てるため數年前兵庫縣から航空發祥の地所澤飛行場近くに移轉、念願達成を心掛けた結果

長男正一君（二）は航空兵中尉として目下中支那の第一線に活躍し次男航空准尉正治君は去る十一年五月、三男正男君は航空兵曹長として十年三月それ〳〵尊き空の犧牲となり四男正明君（二）は病氣のため航空兵伍長で兵役免除となつたがこの程全快し滿洲國航空兵中尉になつて目下○○に活躍し、五男正信君（九）は少年航空兵として志願したが體格で不採用となり、〝五人の荒鷲〟の念願も今一歩のところで叶はぬのでないかと思はれてゐたが

このほど晴れて航空兵現役志願に合格「○○飛行聯隊へ入隊すべし」との通知があり、こゝに見事に空の五人兄弟が出來あがつた、住原さん夫婦は全く望みを達しましたからこの土地を引拂ひ近く本籍地から四男の住む滿洲國へ引移るつもりです……と語つた

空の惡戲者
無線電信異變

東京七日（同盟）――今月に入つてから空の惡戲者デリンジャー現象が一日、二日、六日と頻繁に起り歐洲大戰で輻輳する對歐回線や對滿對支方面の通信網を混亂させてゐるが七日は此現象が最も大きく時間も長かつた即ち今曉五時五分ごろから始まつたデリンジャーは約三十分間に亘つて南米及びサンフランシスコ方面の電信を混亂させ四十分頃一旦回復したが更に九時二十分頃第二回目の現象が始まり南北米、ジュネーブ方面の對歐回線は正午頃全く混亂狀態に陥り、また滿洲、支那方面も全く通信不能に陥り午後二時二十分頃に至り漸く混亂狀態を脱した有樣だつた、右につき遞信省工務局金原技師は語る

「この現象は大体昭和九年から十二年頃まで增加の傾向を示してゐましたが昨年頃からは減少してゐるのです、普通は一時間位で終るのですが今日のは時間が馬鹿に長いので或は時季嵐の影響ではないかとも思はれます」

ビール一本飲むと廿一錢が稅金
但し日本での話

【東京通信】酒、ビールを飲むにも勘定の半分は稅金に――八月十七日磯相官邸で開かれた稅制調査會小委員會の席上で大矢主稅局長から酒とビールに對する增稅額が提示され同委員會もこれを承認した、それによると清酒は現在一石につき五十五圓の稅金（酒造稅四十五圓、物品稅十圓）を更に十五圓引上げ、ビールは一石當り四十五圓の稅金を更に五十八圓に引上げることになつた、この結果酒は一合につき一錢五厘の引上げで七錢の稅金がかゝることになり、ビールは一本（四合瓶）につき四錢五厘引上げで二十一錢の稅金がかゝることになる、さらに遊興稅は現在免稅點五圓を三圓に引さげ娯樂の花代も現在の百分の二十を三十に稅率が引上げられることになり、また劇場などの入場稅も現在料金の一割であるのを二割に引上げられることになつた

鈴木七郎氏講演
キチラノ聯絡協議會では明後九日（土）午後七時より佛教會堂で鈴木七郎氏の講演會を開催することゝなつた、尙同夜は同氏の活動寫眞やレコードなども公開する筈で多數の來聽を希望すると

國際バザー
第三街聖公會

△第三街聖公會では資金を得る目的で來る十月十四日國際バザーを開催する事となつた、日曜親善のためにも好結果をもたらすべく目下婦人會が主となり準備中である

△母の會　明八日午後八時より例會を開催、教師、父母の懇談をなす、多數來會を希望、尙新入會員の歡迎をなす由

△特別集會　來る十日（日）午後二時半よりマーボール信徒の特別集會が開かれる

カソリック教會
秋のバザー

日本人カソリック教會では資金募集のため例年の通り十月廿七八の兩日バザーを開催するに決定、早くも準備に着手してゐる

フエアビウ佛教婦人會で追悼會

フエアビユウ佛教婦人會では先般物故した會員浜川すて姉の追悼會を來る十日（日）午後二時から同佛教會堂に於て嚴修する多數の參詣を希望

村雲婦人會總會
日蓮宗佛教會

來る十日午後二時より日蓮宗佛教會において宗祖龍ノ口法難會を執行、深澤布教師の法話の後村雲婦人會より「おはぎ」の接待あり、これと兼ねて同婦人會の定期總會並に十二日講筝を併修する、十二日講筝番は管次子、川口乙吉、川口吉次の諸氏

◎御花嫁の御仕度一切
オイルパーマネント及無電無熱パーマネント
結婚式に日本着振袖賃貸

花嫁様の御支度
最新式機械及び無機械のオイルパールネント・ウエーブ
御披露に日本着振袖致します
晩市メーン街三二二
スター映畫館

御花嫁の御仕度一切
長髮、短髮及機械無各種オイルパーマネント
無害毛染
日本着振袖賃貸

クラウン生命保險會社
晩市ローチャス・ビル八二三

スーツ、タツプコート
秋向きの服地サンプル、既製服が揃ひました
今回は一段と又見事な上等品も參りまして……種類の多い、
スタイルの素敵な事は一度御覽下さればキット御滿足して頂けます

特別仕立
一九、五〇―四三、〇〇
既製服
一五、五〇―三一、五〇

特別仕立
は多年の經驗と專門的技巧を有する芦川が居ますから安心して御相談下さい

晩市バウエル街三六九
電話シー五二一八―五二一九

前川商店洋服部

TAIRIKU NIPPO

Vol. 34 No. 9833 THURSDAY, SEPT. 7, 1939 Vancouver, B. C.

Japanese Music Characteristics

Of all the accomplishments in the Fine Arts in this country, the art of Japanese music seems the least appreciated and understood by the outside world. The beauty in Japanese block-prints, the stately posturing of the Noh dance and the colorful Kabuki drama, the perfection of a Japanese flower arrangement, the graceful simplicity of the tea ceremony, all these arts and others are known and appreciated in the West. But appreciation of music has lagged behind that of the other arts; not because it is of an lower order, but simply because it has not had a Fenollosa or a Happner to sing its praises.

The music of this country is certainly far removed from the art of Bach and Beethoven. In fact it is so far removed that foreigners who have lived in Japan for years take absolutely no note of it. But we would like to point out that this disregard is not necessarily on account of any shortcomings in the music, nor is Japanese music so far removed from Western music that an appreciation of it is impossible.

The word that expresses music in Japanese is "ongaku". If we compare the etymological explanation of "ongaku" with that of the term "music" we find that, at least in origin, the Western and Eastern conception of music have very much in common.

The word "music" is said to be a coalescence of "muse", the Greek term for a goddess of the arts, and "ars", which designates "things made by the hands". Thus it may be said that the Western conception of the function of music was to do something for the gods, or in other words, to make pleasing sounds as an offering to the gods.

On the other hand, let us look into the two Chinese characters used to express the Japanese term for music, "ongaku". Etymologists here have found that originally these two characters had the connotation "for the pleasure of the gods". On comparing the idea of "for the pleasure of the gods", the Chinese and Japanese conception of music, and "things made by the hands for the gods", the Western conception of music, we might conclude that, in origin at least, there is some relation between Eastern and Western music.

This point need not be stressed further, for it might be safe to conclude that all music, whether Eastern, Western or Arctic, had its origin in the glorification of some supernatural being. It should not be necessary to point out that the primitive music of Africa is but the expression of religious ecstac of the savages.

If for the time being we are granted the argument that Eastern and Western music are basically related, then what are the fundamental factors underlying the difference between Eastern and Western music, between European and Japanese music?

In a general sense, Western arts tends to the glorification of man and the human body; Eastern art to the impressionism of natural phenomena. Of course Europe has had her Corots and other painters of natural beauty, but from the Greeks and their sculpture down through the Renaissance to modern times, European art has tended towards the depicting and glorification of the human personality.

This tendency of sculpture and painting in Europe can also be found in her music. The Greeks dedicated the art of sound to the glorification of a deity, the goddess of music. In the middle ages, the music of the Church developed in the glorification of Christ, conceded to be one of the greatest personalities in the history of mankind.

Many regard it as a weakness that the people of Europe have bent their efforts towards the glory of man and his works, be that as it may, nevertheless great things have been accomplished. Worship in the Catholic Church began with simple chanting, a group of people singing one melodic line of music. Gradually more melodic bars were added leading to what was known as counterpoint, a musical structure that became collossal when music was written in as many as thirty-two voices massed one against the other, all in the praise of the Son of God who came as a man to live among men.

This point could be developed to lengthy proportions, all boiling down to the fact thattheEuropean tendency in music has been to evolve something large and complicated in the glorification of man.

In the East, the tendency has been in a different direction; towards the submerging of man in the awe inspirig power of nature. Of course it cannot be denied that India, China and Japan have a heritage rich in sculpture and certainly the greatness in this form of art rarely lies in depicting nature. But this sculpture of the East does not have that warm human blood that courses through the stone of a Greek statue. The great works of Eastern sculpture often depict neither man, woman, nor god, but a sort of impression summing up these things in one work. Eastern sculpture does not aim at depicting the human body like that of the Greek's.

Chinese and Japanese painting tends towards the pictorial; trees, flowers, rocks, mountains, and mist, but is not an attempt to depict nature. The Japanese painter is never seen on a mountain side painting the view before him. He visits the place and then returns home to make an impression of what he has seen. The painter makes use of only the most necessary strokes of his brush to create but the barest impression of his subject. The person who views the work must depend upon his own imagination to complete the

See SAMISEN
On Back Page

NISEI AVIATORS GREET "NIPPON"

LOS ANGELES.—When the Japanese newspaper plane, "Nippon," arrived here Sunday, an escort of four airplanes piloted by California nisei aviators took off to welcome the round-the-world ship to the Union Air Terminal in Burbank. They were Henry Ohye, Tommy Teraji, Isao Tabata and Ko Kiyomura.

VISITS SHRINE — Above is shown one of the numerous groups of children of fallen servicemen who are seen visiting on invitation the Yasukuni Shrine in Tokio, dedicated to the fallen, recently.

Renovation Expenses of Salvaged Ship Would Buy New One Owners Find

OSAKA.— The renovation expenses for the Tongking, 6,645 ton freighter, which was salvaged off the coast of Penang and towed to Osaka harbor recently, are likely to cost the Kyoei Shokai, Kaigan-dori, Kobe, its new owners, just about as much as to build a new ship, naval architects who have been examining the vessel, say.

The 2,000 tons of rice in her holds is expected to make good chicken feed. The owners expected to net a fairly large profit from its sale, but—

The Osaka customs officials inspected the rice and found that it would make even a pig sick. Most of the rice had turned into large lumps resembling coal.

The intense heat at the time of the ship fire is believed to have been responsible for the change. The customs officials ordered the owners to dump the rice into the sea.

The Kyoei Shokai is at a loss how to get the rice out of the ship. Since the wooden structure of the ship has been demolished by the fire, laborers must carry the rice sacks up ladders to get them out of the ship.

The gunny sacks containing the rice have rotted and can hardly hold the rice. To make matters worse, copra and crude oil have flown over them and made them very slippery.

A staff member of the Kyoei Shokai proposed to use cranes to scoop the rice up from the holds of the ship and load it on launches, which would go out into the ocean to dump it overboard.

His proposal met with great applause by the other staff members, but later found to their dismay that there were no cranes large enough to reach the bottom of the Tongking.

The only means left for the Kyoei Shokai to get the worthless load of rice out of the holds of the Tongking is to cut a hole in its bottom while repairing her.

But there is not a single drydock that is available for the Tongking for several months yet. Every dockyard in Japan is pressed with orders and is short of shipbuilding materials.

The Tongking does not retain a bit of its wooden structure and most of its steel structures have become bent and useless due to the fire. The only portion that is of value is the hull.

According to reliable sources, the Danish steamship company sold the wrecked Tongking for 200,000 yen to the Japanese. Adding to it the salvaging and towing expenses and the towing insurance, the ship has cost approximately 700,000 yen already.

The repairing expenses will run up to a huge figure, since everything except the hull must be renewed. Moreover, the owners must pay 27 yen a ton as import tax.

If she had been imported as scrap iron she would be exempted from the import tax. Since the Kyoei Shokai has openly stated that the Tongking would be used as a freighter after renovations, the Osaka customs is preparing to collect 179,415 yen as import tax.

Putting all expenses together the renovated Tongking will have cost the Kyoei Shokai just as much as a new ship by the time she is placed on service.

A Nisei Discovers America

By DR. YASUO SASAKI

(This is the eighth of a series of articles being written by Dr. Sasaki.)

A nisei's discovery of America begins on the day of birth. But his discovery gains in significance only with the years and experience.

Two more years and I shall have lived three decades all in America. To date, the limits of my travels have been the Atlantic coast on the east, the Pacific on the west, the Canadian border and the Mexican. But as an avid reader, my excursions in printed literature know no boundaries. Magellan, Vasco Da Gama, Columbus, Captain Cook . . . such names bring fond memories of the days when I used to follow their voyages with so much enthusiasm that I almost felt myself a member of their crews.

I know that long before that, I was wondering about the world, even before I had any comprehension of what was meant by the word, world. Somehow you are born. And by a strange accident you find yourself born in America. Why here, of all places? You may or may not learn, later on, that fate has been kind to you. Learning this makes all the difference to your being a successful, loyal and happy citizen. My learning this (I don't say America is perfect; no country on earth is) makes up this story appearing in these columns. I'm telling mine in hopes that the rest of you will also be telling yours, whether to me or to others, when your turn comes.

Visions of one's early days are fugitive and have a tendency to fade with time, but, the main impressions are sealed forever, that is, as long as the brain is alive. First, there are the childhood years when fantastic notions are accepted as gospel truths. More than half of the pleasure of living then, it seems to me, were those queer, unscientific, childish beliefs.

Among very young children there is no silly separation of national cultures, no boundary disputes, no bloody patriotism. All is peaceful internationalism, a united brotherhood of individualists with the common medium of baby talk. Perhaps such attributes enabled Christ to say that "of these is the kingdom of Heaven." In other words, from a nationalistic standpoint, we are becoming more and more obnoxious to one another as we grow older, particularly when we begin to classify eyes as brown or blue, noses, hair, political beliefs, etc.

Whatever the benefits we can't stop growing old. And since this fact is inescapable, we ought to grow wiser at the same time. Idiots, morons and people I don't like merely grow old physically.

Now to get back to childhood years. This was before I began attending kindergarten. Horses and buggies were then the normal vehicles of transportation. An automobile with its ogre-like noises and the sound of its horn which seemed to cut through you like a knife terrified me just as the lean, bony horse of an occasional junk-man nowadays scares the little children.

I remember clouds of dust that trailed all traffic. The streets were of dirt, unpaved, and seemed wide because I was small and young. Among the one-storey houses and two-storied ones stood out the general stores, harness shops, banks, pool halls. Telephone poles followed the main thoroughfares, and the wires were populated by sparrows. This is the mental picture I have of my home town.

I used to explore this certain circumscribed section of our loved America on my trustworthy tricycle. In the daytime I had only shaggy mongrel dogs to fear besides, of course, the infrequent automobiles, grotesque then as probably they would appear today to anyone used to sleek, modern cars. Sometimes now I sense the same dust beneath my shoes, the same sun and sky overhead.

The picture of America then had nothing to do with tussles of democracy and fascism or strifes of parties and classes within a nation. The first World War was already waging in Europe, but I was blissfully unaware of it until the family all moved to a larger city. There we saw doughboys on parade. And those were the days we doted on parades. There was nothing of suffering or misery or of the grimness of war in the flashy, spirited ranks of marching soldiers. How well I remember sitting on curbstones, hanging on grown-ups' shoulders or standing on window sills. Flags waved everywhere, the populace cheered, and the music of brass bands filled the excited air.

Should men all over the world start marching again, I know I won't be watching them with the same childish wonder of those bygone days.

Osaka Residents Draw Telephones

OSAKA.—Out of 6,280 telephones to be installed in eight prefectures under the jurisdiction of the Osaka communications bureau this year, 3,892 were allotted to applicants with priority rights by the Communications authorities recently.

The rest of the telephones will be sold to the winners in the drawing to be conducted by the Osaka communications bureau and the central telephone exchanges in Kyoto, Osaka and Kobe.

Priority rights for the installation of telephones without recourse to drawings have been given to those whose business dealings are deemed vitally important in carrying out the government's industrial plan. The communications authorities in Osaka had been conducting an investigation of applicants and their qualifications for preferential rights.

The number of applicants this year is five times greater than the number of telephones to be installed.

The total number of allocations for Kyoto, Osaka and Kobe is as follows: Kyoto 400, Osaka 3,550, and Kobe 555. In addition, 1,775 will be allocated to other areas within the jurisdiction of the Osaka communications bureau.

Consul Nemichi Presented Wrist Watch In Steveston

STEVESTON—Aproximately 250 persons asembled at the local Dantai Hall and honored Consul H. Nemichi with a farewell banquet Saturday evening. The affair was conducted jointly by the Steveston Japanese Association and the No. 1 District Japanese Fisherman's Association. Mr. Ichiro Hirayama presided over the gathering.

After supper farewell speeches were delivered by the following persons:

Unosuke Sakamoto, chairman of the No. 1 District Japanese Fisherman's Asociation; Shotaro Inomata, Upper River Japanese Fisherman's Ass'n representative; Chusaburo Furukawa, representing the Steveston Fukei-Boshikai; Yoshio Kochi, chairman of the Japanese Fisherman's Joint Council; Kuranosuke Hashimoto, president of the Steveston Japanese Ass'n.

Consul Nemichi, in response, spoke for nearly thirty minutes touching on various items including the stand taken by the Japanese fishermen and nisei in connection with the various problems which arose since the consul assumed office here and in closing his address thanked the gathering for tendering him such a wonderful party.

President Hashimoto led the assembly in giving three cheers to the retiring consul and Consul Nemichi in return proposed three cheers to the Japanese fishermen before the banquet came to an end at 9 p.m.

A farewell gift of a lovely wrist watch was presented Consul Nemichi by the Steveston Japanese Association and No. 1 District Japanese Fishermen's Association.

Ladner Fisherman Saves Two Lives On Labor Day

S. Akune of Ladner saved two Canadians from drowning on Monday when he happened to sight their sinking boat about 7 miles southwest of Sandheads lightship.

The Japanese fisherman took the two unfortunate victims to Pender Island.

The Canadians' boat had struck a drifting log.

HOMPA Y.W.B.A. PLANS FIRST FALL MEETING FOR SUNDAY

Hompa Y.W.B.A. will open its first fall meeting on Sunday, September, 10, from 2 p.m. at the Kaikan, it was announced today.

Full attendance is requested.

Samisen Becomes Popular As Appreciation Grows

TOKIO—The samisen, three-stringed guitar—the simplest and yet the most complicated stringed instrument—is becoming more and more world-famous. A unique musical instrument of Japan, it is being popularized in the United States, Manchoukuo and China.

A request was received here recently by the samisen school of Yashichi Kineya at Roppongi, Azabu ward, from Director Tamon Maeda of the Japanese Cultural hall in New York city for a supply of samisen and samisen scores in order to meet the demand of foreign musicians as well as Japanese residents.

Responding to Maeda's request, Prof. Yashichi Kineya sent a supply of made in Japan samisen—not of Indian materials—and samisen scores to New York. She also expressed the intention of visiting the United States to teach the art of samisen-strumming.

Nippon Government Issues Official Statement On Stand

TOKIO (Domei) As a counter-plan to the European crisis which threatens to develop into another World War and confirming the declaration of Premier Abe, that "Japan will not intervene in the European war but will exert her effort towards the solution of the China affair," the fundamental policy of Japan was enunciated in an official statement issued by the Japanese Government following the cabinet council on September 4.

FORMS NIPPON POLICY—Led by Premier Nobuyuki Abe (centre), two members of the Nippon cabinet which controls the affairs of Japan nation are Naoshi Ohara, Minister of Home Affairs and Welfare (right), and Minister of War, General Shunroku Hata (left).

Confronting the disorder in Europe, the Japanese government made clear its non-intervention policy and at the same time evinced that Japan will not adhere to the situation in Europe and will instead incline all her power to solve the affair in China.

The above statement is based on the belief that since the greatest and urgent mission of Japan lies in the speedy settlement of the China affair, Japan should not be swayed even the slightest by the vicissitude of the situation in Europe; hence, as for Japan, it is more so her duty internally to take various measures in perfecting the national defence and completing the organization of the country, and externally, to adjust the international environment and propel her immobile national policy towards immediate solution of the China affair.

As a result the relation of Japan and other nations, henceforth, will not be influenced by the change in the state of affairs in Europe. It is also plain that countries which comprehend Japan's policy and try to co-operate with her will be considered friends while countries which obstruct Japan's policy and aid Chiang Kai-shek government will be regarded as enemies. Japan's assertive policy in regard to diplomacy is abundantly harbored in this statement of the Japanese government.

Foreign Troops Evacuate China

TOKIO Sept. 7 (Domei)—Respecting Japan's neutrality rights, military forces of European warring nations began to leave Japanese controlled areas in China today in accordance with international law.

The Japanese Times reports that the British Far eastern fleet prepared to leave for Singapore, while the British land forces in China were being shipped to Hongkong.

However, a number of British and French river gunboats stationed on the Yangtze River may not be transferred to British territory as they are unable to withstand the heavy seas.

Tokio Heads Recall Manchu Ambassador

TOKIO, Sept. 7, (Domei)—General Kenkichi Uyeda, Kuangtung army head will be replaced as Japanese ambassador to Manchukuo by Lieutenant-general Yoshijiro Umezu, former vice-minister of war and present commander of the Japanese Tientsin garrison troops according to an official government announcement today.

General Uyeda, however, will retain his army post.

New Consul Nakauchi Arrives Today On Heian

The Hon. Kenji Nakauchi arrived here this afternon on the Heian Maru to take over consular duties succeeding Consul H. Nemichi. Mr. Nemichi sails on Sept. 18.

Powell Y.P.S. Resumes Activities Starting Sunday

With the passing of summer days and the return of fall weather, the time has come for the Powell Y.P.S. to resume its activities once again.

The opening meeting will be held this coming Sunday, September 10 at 8 p.m. in the Night School room of the Japanese United Church. At this time the secretary and treasurer will present their annual reports and the president will review the activities of the past year. The election of new executive members will also take place.

The president, Takashi Komiyama, will speak on the proceedings at the Pan-American Christian Congress that he attended recently in Los Angeles.

All members are asked to be sure to turn out to this very important meeting. This meeting will give them an opportunity to put members whom they would like to see on the executive, into office.

All young people who long for true Christian fellowship with other young people, even though they are not at present members, are given a very cordial invitation to attend this opening meeting.

Nippon Students Rest In Seattle This Week

SEATTLE—Nippon student delegates to the sixth Japan-America student conference held at Los Angeles arrived in Seattle Tuesday of this week on the last leg of their visit to the United States.

Upon arrival the students were taken to Bainbridge Island where they will enjoy a week's rest at the Y.W.C.A. camp. From September 13 to 17, the Japan delegates will be whisked around the city sightseeing, luncheons, banquets, until they sail September 17 on the Heian Maru.

On September 13 the Rotary Club will be hosts at luncheon. The students will attend a stage presentation at the University of Washington and spend the night with American families.

Locals are arranging a brief sightseeing program for the students when the Heian Maru arrives here on Sept. 18 on its way to Japan.

Fukuoka Seinenkai Had Splendid Gathering Here

"I actually believe that our convention is extremely beneficial or rather essential to the welfare of the second generation," said Don T. Sugiman, chairman of the annual Fukuoka Seinenkai convention held here over the Labor Day weekend, in his address which officially opened the meeting Sunday attended by more than 40 local delegates, 15 from Seattle, 10 from Portland and 6 from Tacoma.

"Three primary factors have led me to formulate this opinion," Sugiman went on to say. First: it establishes social contacts drawing the bonds of nisei fellowship closer together; second: it gives us a chance to obtain varied opinions concerning our problems and third: it affords, in some cases, an opportunity to exert a co-operative effort to bring about a solution of these problems."

"Such a great responsibility as this, of course, necessarily involves many difficult problems and seemingly insurmountable barriers which call for unified action," Sugiman said.

"Surely, we have much to appreciate and I sincerely believe that we hold our destiny in our own hands and that if we endeavor to understand and improve our social relationship one to the other, avoiding those selfish and hateful characteristics that are ever ready to invade te human heart, our efforts, whatever it may be, will be crowned with success."

The next convention was planned for Portland but on account of the J.A.C.L. convention there in 1940, it is switched to Tacoma. The 1941 meet will be held in Portland, the Fukuoka elders numbering 40 who also held confab decided Sunday.

Esther Ennu welcomed visitors in place of Misao Hatanaka who underwent an appendicitis operation Saturday. At the meeting Sunday, replies were given by Portland's Jack Ouchida, Masami Omura of Tacoma and George Kakehashi of Seattle. After individual introductions, the chairmanship was passed to Shigeharu Okumura who introduced the following secretaries: Outlining past year's activities were Mary Inouye for Seattle, Masami Omura for Tacoma, Yuriko Hatanaka for Vancouver. Then David Arikado pinch-hitting for Doug Oike led community singing. A group picture which will be ready soon was take nat Powell ground. Visitors were taken sightseeing.

At the joint senior-junior banquet almost 200 attended of which over half were young people Sunday at the Fuji. Senior speakers were Y. Inouye, president of Seattle Kaigai Kyokai, I. Sugiman and Kaichiro Yasutake of Vancouver Yoshimaru Abe for local juniors. Replies were made by Jack Ouchida of Portland, Yasuko Mori of Tacoma and Jiro Yoshimura of Seattle. Chairman was S. Okumura, vice-president of Kaigai Kyokai. Dancing followed.

On Monday the group spent the day on the North Shore. Seattle and Tacoma delegates returned Monday evening. Portlanders went back Tuesday morning.

Surrey Lecture Set for Saturday Evening at Hall

SURREY—Under the auspices of the Seinenkai a lecture meeting will be held in the local agricultural hall on Saturday, Sept. 9, from 8 p.m.

The speaker will be Mr. Yoriki Iwasaki, managing director and editor of the Tairiku Nippo, who will disclose his impressions and give a description of the trip to Japan and China which he made early this year.

Everyone is invited to attend.

Educational Display At Nippon Club Tonight

Shichiro Suzuki, former principal of Ocean Falls, is presenting tonight under J.C.C.L. auspices a display of posters, postcards, pictures and motion pictures of educational nature of the Far East at the Nippon Club from 8 p.m.

TAIRIKU NIPPO
(The Continental Daily News)
(Established 1907)
Published at
213 East Cordova Street
Vancouver, B. C.

Statement Of Loyalty

By T. I.

The excitement of the Labor Day week-end when events in Europe disrupted normal living found a calm Japanese Canadian Citizens League ably clarifying to the Canadian nation through Prime Minister W. L. Mackenzie King that the Canadian-born can nbe counted on to give "deepest loyalty and devotion to our country and the British Empire."

"We are fully prepared to act in the preservation of our Canadian democratic ideals," the message signed by Harry Naganobu, national president, also stated.

Further comment on the subject is unnecessary and immaterial at this time, for the message embodies the representative stand of Canadian-born Japanese in the European crisis.

While a state of war does exist at present, the Canadians of Japanese ancestry sincerely hope yet that a general conflagration will be averted and that mankind will not be forced to undergo the horrors of another World War.

Continued from Front Page

SAMISEN

picture.

The worship of nature is also the main current flowing through Japan-poetry. Even in amorous poetry, the idea is to compare or relate the loved one to some phenomenon in nature, not to fill the lines full of passion in the praise of man for a woman as it is so often in European poetry.

The great bulk of Japanese music is vocal in scope, and it is only natural that this type of poetry should reflect upon the music. Japanese music is highly programatic, but not in the sense of program music in Europe, which makes the futile attempt of depicting things or relating a story through the medium of musical sounds. The Japanese composer is concerned with giving one of his impressions of a thing, usually a subject inspired by contact with nature, and like the Japanese painter who employs but a few necessary strokes of his brush, the composer works with a great economy of sound to give the listener but a bare outline of the musical picture. The listener in turn must fill in the remainder of the sound picture with the flow of his own imagination. Western music, through complexity of harmony, counterpoint, and tonal coloring by means of clever instrumentation, leaves little to the imagination of the listener: the bare musical outline of Japanese music allows the listener full scope for his powers of musical imagination.

It is quite natural that there should be a great gulf separating the music of Europe and that of Japan, but there is no reason why the Westerner cannot learn to enjoy Japanese music. The reason the visitor to Japan does not find any melody, rhythm, or reason in Japanese music is because the stranger comes from a musical environment so entirely different that his ears do not register the melody simply because the ear-drums do not register the timbre, or the tonal quality and coloring of the Japanese instruments and methods of vocal production.

The appreciation of Japanese music, however, can only be acquired through a willingness to make a little study of it, and more important still, to listen to it with ears unprejudiced by the Western yardstick of musical idiom to penetrate.

Nisei Sports

GOLFERS RETURN PRIZELESS

Secretary Takeo Arakawa of the Nippon Golf Club was more disappointed than the thirteen local entrants who tripped to Portland over the weekend, when he learned the results. He had been so confident that either Isegai, Kasukawa, or Herby Tanaka would finish in the money in the "A" flight but it turned out that George Tanaka was the only one who got a smell of the first prize.

According to the secretary, our golfers tend to show uncommonly bad form on a foreign course due probably to over-anxiousness instead of being their own steady and calm selves.

Secretary Arakawa said despairingly, "Isogai or Kasukawa never made such bad scores even on their "off" days." The secretary was quite upset by the showing of his wandering brood.

It was an unfortunate campaign for the Vancouver Nippons this year. So they'll just have to patiently await the 1940 northwest tourney to make amends.

RUMORS HAVE IT THAT—

While Minoru Akiyama, headman of the basketball ring, presages a clothiers' league in the months to come with the senior circuit blossoming out with the colors of M & N., Harry's Clothing Shop and T. Maikawa and the U.B.C. students and Steveston expected back into the fold, the rugby picture contrastingly at this early date is gloomy, if a rumor is to be believed.

The rumor is that the ruggers are not going to field a team this year in the second division for sundry reasons. While hoping that the rumor is just a rumor, let's believe the various problems can be worked out amicably so that a valuable addition to community sports will not be lost altogether.

As a winter pastime and especially since the play is on Saturday, the boys do worry that it will interfere with their work. But for three years now they've stuck together and have a record to be proud of: if they disband now they'll not be able to organize again easily.

But far be it for us to meddle with what concerns the rugby boys. It's their business whether or not they play this winter, and they haven't said "no" definitely yet. It's just tat we are interested and would be very sorry if the boys don't get together again.

KING WINTER APPROACHES

With the Labor Day deadline past another Sunday or so will see the finish of tennis, Bussei baseball and the Asahi adventure for the city championship. Then plans will be made for King Winter and the campaigns in badminton, table tennis, skiing, rugby (if all goes well), bowling, ice and roller skating (another flurry of these), basketball, and all the pleasures our mild winter brings here.

Now that summer is gone, at least athletically, we look forward pleasurably for a new variety of sports. Everything will have a new thrill again.

Skiers talk of trips to Rainier and Baker and the hoopers already wander on Portland avenues. I looks like interesting months ahead.

Asahis Play Shores Tonight For City Ball Championship

For the honor of being named the city amateur champions, the Vancouver Asahis, Burrard League titlists, and Shores, Senior loop champion, will play the first of three games tonight at Athletic Park from 7.30 p.m.

Manager Bill Adshead announced that either Fred Yehle or Reg. Wallis will face Asahi batsmen with Hec MacDonald receiving. Manager Roy Yamamura indicated his probable choice for starting pitcher is Nag. Nishihara with Mousie Masuda in the mask.

As a test of the comparative strengths of the Burrard and Senior circuits, Asahis and Shores should provide the best in representative ability. It remains to be seen whether Senior League pitching is superior to the Powel Iground brand. At any rate Asahis can be expected to make their best effort and it will not be a surprise if they do bring home the city ribbon.

The second game will be played tomorrow night and the third, if necessary, on Monday. Tickets are sold at the park entrance.

Vancouver Golfers Fail Badly: George Tanaka Was Second

PORTLAND, Ore. — Three Seattle golfers and one Portlander dominated play in the annual northwest Japanese open golf tournament held here on Labor Day. Of the 13 Vancouver entrants, George Tanaka was the most successful, placing second in the "D" flight with a 189 gross score, one shot behind K. Hasegawa of Seattle, who was first.

Dr. T. Uchida of Seattle, became open champion, capturing first place in the "A" flight with a 154 gross. Besides winnig a grand trophy, Uchida will have his name engraved on the Dr. Tanaka trophy donated this year.

Three Seattleites captured first places in "A," "C" and "D" flights. A Portlander was first in the "B" flight.

The 1940 Northwest Japanese tourney will be held in Seattle, it was decided.

Question Mark Makes Tennis Tournament Exciting Sunday

What are the chances of Fred Sasaki for retaining the B. C. Japanese Open singles championship and the Ko Ishii Cup he wrested from Tommy Iwasaki last year, when the postponed final is played at the Nippon Tennis Club Sunday?

Can Ernie Arikado and Johnny Tanaka raise their game to unpredictable heights continuing where they left off Labor Day with the defending champions Fred Sasaki and Tommy Nobuoka one set up 6-4, and the determined challengers leading by 3-2 in the second set having broken through their rivals' service?

These two questions still remain to be answered and thus the community sportlight turns again on an interesting week-end of tennis.

Sasaki, who last year cut short the Iwasaki reign by 7-5 score three times wore out his opponent by persistent retrieves amassing points by sheer weight of doggedness. He refrained from employing the hard-hit drives which he is capabe of, and in the early rounds of this year's meet he has been seen experimenting with the two types of games he plays. Against George Ide, Sasaki used the power system and on finding trouble in controlling his shots reverted to the more "pat-ballish" side against Johnny Tanaka. Another factor to his advantage is his strong legs which carry him around with a speed that turns many an almost impossible "get" into an ace.

Even after a summer's absence from the game, Sasaki has yet to meet real opposition. His game doesn't seem to have suffered a great deal so he shouldn't have much difficulty in defending his crown. If Iwasaki can lift his game to upset the Sasaki strategy by outmaneuvering the champion with sharp shots it will decide the issue of who becomes the 1939 singles champion.

Determined to register the biggest upset of the tourney are Ernie Arikado and Johnny Tanaka, who as is told above, were leading 3-2 in the second set with service going to them when rain stopped the event. Having stalled off the defending champions with lobs waiting for the opportune time when they could settle down, fate seemed to be against Arikado-Tanaka. They must start "cold" next time and can allow the opposition not more than three games unless the complete match is replayed with mutual consent.

The winners must hurdle Gus Hirano-Dick Matsui to meet the victors of the Matsubayashi-Kinoshita vs. Akiyama-Iwasaki match. The veterans who have held many previous titles are heavily favored to dominate play with "inside" tennis.

Other matches to be completed are the mixed and the women's singles.

Clubhouse Comments

By I.N.

Though we once prophesized that the tennis club was headed for the financial equality of a nudist camp—Labor Day's full dress parade gave a pleasant lie to the forcast....

After watching Tommy Iwasaki's crisp flat forehands it seems a pity that he can't squeeze more time for his tennis....

Though wiley Mr. Kinoshita put forth all " treasons and strategems" against the rampaging Roy Shinobu he reaped no "spoils." If Roy's play is any criterion, in future, club coaches will prescribe a brief sojourn to Woodfibre for ailing tennis arms....

Frank Watanabe plays a curious game for a Kumagai cup-holder, but when it comes to that "never say die" spirit he's—more than champ....

Johnny Tanaka almost lost that second mixed-doubles set against Ikeda-Tanaka until he let his partner play....

George Ide showed frequent flashes of form in his match against Fred Sasaki but will have to learn to make quicker decisions than a girl choosing her first party dress....

Mat Matsui, it seems, enjoys the luxuriant languor of his bed better than his tennis. Sam Hagino looked all over the city for Mat and than was greeted with, "Hey! where youu been all the time?" But the pant champs arrived at their last gasp when they met the Seatle pair, Frank Watanabe and Mr. Fujii....

What we all want to do Mi, but haven't the nerve—Mi Akiyama heaps imprecations on his head and rails against all the forces of heaven and hell, everything from Saint Peter to Casanova, when he misses a shot. And it does get contagious, when Mi fumbled a set-up smash to give the Seattle A doubles team another "life". one sweet sympathizer losd words that might have been "darn" or might have been "damn"—but just was'nt.

On the Bases

By "S. K."

Hail to the Asahis—1939 Burrard League and the Pacific Northwest Japanese champions!

Defeating Merritt-Gordon Hotel on Saturday in the deciding game of a hectic seven-game series, Asahis successfully defended their Burrard League title, and became first holders of the E. Kagetsu championship cup. This cup will become the permanent possession of the team winning it three years in a row.

On Labor Day, the Asahis plastered a double defeat on the invading Fife Nippons, Courier AA and July 4th tournament champions, to cop the Pacific Northwest championship for the third straight year. The locals became the permanent possessors of the championship cup, donated for competition this year by the Seattle Japanese-American Courier.

And the Asahis have a chance to add another title to their impressive collection, when they tackle Shore's Jewellers, City League champions, in a three-game series starting tonight, for the championship of the city. And they need only this win to end a highly successful season.

THE HOT-BOX: It looked for a while as if Asahis were going down to defeat at the hands of the strong Merritt-Gordon squad, but they snapped out of their slump just in time to cop the deciding game of the series. It was the tough luck of the Asahis to hit a slump just when they got into the playoffs, and there is no question, that had they been able to keep their steady hitting and fielding form they displayed in making a run-away race of the regular schedule, they would have had a far easier time than they had in the playoffs.

Coupled with the fact that the ultimate winners were in a slump, was the fact that the M.-Gs were definitely "hot," as can be testified by the great hitting and sensational fielding displays they showed in the series.

Here's the statistical story of the playoffs:

The figures compiled from the seven-game series show the extent of the Asahi's slump. They managed to get only 34 hits out of 159 times at bat for a measly team average of .214. On the other hand, the M-G squad banged out a total of 58 hits out of 189 chances for a creditable .307 team average. The Asahis were outscored 23 to 17.

Heavy sticker for the champions, and a big surprise of the series, was Eddie Nakamura, who hit safely six times out 14 chances to roll up a neat .429 average. Kaz. Suga was the next heavy hitter with an average of .313. Behind him was Mousie Masuda with a .250 average.

Leading hitter for the M-Gs, and for the whole series, was Neil Fullen, who knocked out 15 hits, including six doubles and a triple, out of 25 trips to the plate for a magnificent average of .600. Next to him came Rupe Noble with .458 and Archie Inkster with .333.

Figures from the three-game series between Asahis and Fife Nippons for the Pacific Northwest crown, show that Asahis compiled a slightly better team batting average than the Nippons. The newly-crowned champions had an average of .310, while Fife hit for a .302 average.

Leading hitter of the series was Yuki Uno of Asahis, with a brilliant .600 average, while right behind him came Nobu Yoshida of Fife, with an average of .556. Tied for third position was Isamu Uchida of Fife, and Mousie Masuda of Asahis, with averages of .444. Kaz. Suga hit for an average of .400, and in a three-way tie for fifth place were Peter Mello, Dyke Itami and Toru Kuramoto, all of Fife, with .333 averages. A big surprise of the series was the complete failure of Ben Yoshida, who copped the Courier AA batting crown, to get even a single hit during the three games.

HOOK SLIDES: Who was it that dozed off on the bus on his way to Hammond one day and didn't wake up till the driver called out Mission City? And who was it that waited till past midnight one night last week-end, expecting a friend, who didn't come, from the Island?

Three Enter Publinx Golf

Reggie Yasui, I. Oyama and B. Hisaoka, members of the local Nippon Golf Club who remained home, participated in the Vancouver Province public links golf tournament Labor Day, but the trio failed to place in the victory bracket.

Yasui had a good morning round, shooting an 80. He blew up in the afternoon play, however, and finished with an 88 which with his handicap of 18 gave him a net 150, which was quite a good showing among 200 contestants.

Oyama went around in 94 and 93 for a net score of 155.

Bussei Title Play

Having lost the first of the three-game series for the Bussei Baseball League championship by 3-1 last Sunday, Fairview is determined to set back Hompa this coming Sunday to level the playoffs. The game will be played at Powell ground from 10.30 p.m.

The three-time champions of the league, Hompa, retired the Bussei trophy last year and are eyeing the newly donated Kagetsu Cup as the fourth leg in their campaign.

Plans Telephoto Service

TOKIO. — Preparations are being rushed by the communication ministry to inaugurate international radio telephoto service between Tokio and San Francisco, Berlin, London and Shanghai by this fall, Domei reports.

The Tokio-to-San Francisco service is expected to start in September, with all preparations progressing smoothly, except that there has been a slight hitch in securing the funds necessary for the San Francisco equipment under the foreign exchange control regulations and a small appropriation.

NUMONT-FUL-VUE
Beauty in Simplicity
HAJIME SUZUKI
OPTOMETRIST
377 POWELL ST.
SEY. 1185
7935

Fall Coats==
The Finest Selection of the Latest Styles and Colors in Fur Trimmed and Utility.
TRIM LINES—
Princess Styles
Straight Box
Fitted
COLOURS—
Black, navy, suez, henna, green, teal, american beauty.
(Ladies' Wear—Second Floor)
T. MAIKAWA
369 Powell Street

For Those Dressy Occassions
A Doubled - breasted Pin - stripe Suit Tailored in the Smart New "Hollywood Halo" Style Will Give You That Certain Distinction that Makes You Stand Out from the Rest of the Crowd.
Exclusive at
HARRY'S CLOTHES
Priced from
$19.50
up
"Tailored to Measure Clothes Specialists
Harry's Clothes
459 EAST HASTINGS STREET
HIgh. 2132

BEST BUYS
Silk Dress
$2.98— for —$1.49
Summer Overcoat
$7.95— for —$3.95
Also Many Other Bargains No One Should Miss!
Modiste Fashion Shop
T. Shimotakahara, prop.
450 Granville Street
Seymour 4941

Special Sale Of
School Cases
(Now Until Sept. 5)
SIZES
12-inch—special 65c & 75c
14-inch—special 79c 95c & $1.15
16-inch—special 98c $1.15 & $1.39
LUNCH CASES
Special: 22c, 27c & 30c
At SHIBUYA'S
374 - 378 Powell Street TRinity 5525